（明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可）

京城日報

二日夕刊

定價　紙代　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢（郵送前金）三ヶ月金壹圓六拾五錢　六ヶ月金三圓[illegible]　▲郵券代用二割増
廣告料　▲五號活字一行金七拾五錢　▲欄内[illegible]　▲三號活字[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　澤口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯用三四五番　二六番　營業用二二〇四番　振替貯金口座京城三〇〇番

第三十七回帝國議會

衆議院（一日）

▲質問全部終了

一日午後一時二十五分開議、島田議長は新に議席に就きたる丸龜市補缺當選議員梶末吉君（同志）及び長崎縣郡部補缺當選議員浦瀨濟之君（同志）を議場に紹介し終るや

▽伊東知也君（國民）議事進行に關し發言を求めて登壇、秘密會を開き余の質問を繼續するは又復延會を見るの虞れあるを以て之を中止す但し其趣旨は趣旨書に明瞭なるを以て之を再讀せられんことを希望すと述べて降壇するや

▽福田又一君（同志）本趣旨書は曩に速記録に掲載す可からずと決議せる佐々木安五郎氏（國民）提案の者と全然同一の内容なるを以て是れ又速記録に掲載す可からずとの動議を提出したるに對し

▽伊東知也君（國民）余は別に異議を挾まずと叫び、次いで

▽佐々木安五郎君（國民）登壇、乃木問題に關する質問を爲し長廣舌を揮ふも大臣席には一人の出席者無し、次で匹田鋭吉君（政友）の地方青年團體に關する再質問あり、此の時より議場漸く倦きんこす次いで順次左の質問あり

●露國關税改正に關する質問　前川虎造（國民）
●陸軍豫備後備役並に補充役に在る者の召集難に關する質問　根本正（政友）
●議員瀆職事件審理進行に關する質問　廣岡宇一郎（政友）

廣岡氏の質問中尾崎法相大臣席に現はれたれば廣岡君は司法大臣の即答を求む

▽尾崎法相　登壇、瀆職事件に關する審理の進捗せんことは司法省にても希望しつゝあり而も裁判所と辯護士との間に延期の決定したるを以て已むを得ず其儘となせり相當の理由ある延期の希望を採用するは從來の慣例なりと受け流して與黨の喝采を博す、次いで小久保喜七君（政友）の簡單なる登極令違犯に關する質問あり更に小山松壽君（公友）の名古屋監獄火災に關する質問ありて漸く此の日の質問全部を終了し議事に移り

●商業會議所法中改正法律案は河野農相の説明あり、紙煙の強制徴收に關し山本平藏（政友）前川虎造（國民）望月長夫（國民）高木益太郎（國民）諸君より質問續出し河野農相切に答辯に努め結局委員附託となる

▲人權保護案議討

●北海道拓殖銀行法中改正法律案は武富藏相の説明ありて議長指名九名の委員附託に決し

●銀行條例中改正法律案●貯蓄銀行條例中改正法律案を一括して議題とし武富藏相の説明あり更に高木益太郎君（國民）の質問に對し輕く答ふる所ありたる後十八名の委員附託に決す次いで

●衆議院議員選擧法中改正法律案は提出者小池仁郎君（同志）より北海道並に沖繩に於ける選出議員増加の理由を説明し小泉又次郎君（同志）提出の衆議院議員選擧法中改正法律案と同一委員附託となる

●府縣制中改正法律案●市制中改正法律案●町村制中改正法律案は一括して議題と爲し小橋藻三衞君（國民）の説明あり一名の特別委員に附託す

●狩獵法中改正法律案は伊東知也君（國民）の説明ありて九名の特別委員附託

●人權保護に關する法律案●刑事訴訟法中改正法律案の二案を一括して議題となし

▽高木益太郎君（國民）の説明後目下議論喧々たる警察官の拷問事件に關する當局の責任を訊し

▽一木内相　より警察制度の改善は當局と雖も等閑に附し居らず拷問事件は目下其の眞相を取調べつゝあり若し警察官に不正行爲あらば相當處分すべしと答へたるも高木君の追窮鋭く内相は再び登壇して答ふる處あり

▽廣岡宇一郎君（政友）亦起立して内務文部兩相の本案に對する意見如何と呼び高木君の述べたる二本件並に小森牧師に關する警察官の人權蹂躙に關する事實如何と訊し

▽尾崎法相　は之等の二件の事件を以て高木君の提案に賛否を表する能はずと雖も司法省は此法案に對しては反對意見を有すと答へ

▽一木内相　は更に警察官の拷問事件は取調中なりと述るや

▽相島勘次郎君（國民）　君は一木内相が嘗て文部省時代に與黨議員應援演説の爲千葉縣に行きたるが其の時より警察官の態度一變し反對黨の拘引せらるゝもの多數なりき之等の事實に徴するに一木内相は警察官に拷問を命じたるものと疑はざるを得ずと皮肉り一木内相の拷問事件に關する責任如何と突つ込むや一木内相は取調中の一天張りにて飽迄も逃げ結局九名の特別委員附託となる

●市制中改正法律案●町村制中改正法律案●二案を一括して議題となし齋藤隆夫君（同志）の説明あり小橋藻三衞君（國民）より前案と同一委員附託[illegible]之より諸般の報告を了へ午後六時十分散會せり（東京特電）

◎羅馬法王特使着京す

三日參内親書捧呈の豫定

羅馬法王廳使節ペトレリー大司教一行は一路午安二日午前八時四十分東京驛に到着同驛にて石原宮内次官、幣原外務次官、市長等多數の出迎を受け添田鐵道院總裁の先導にて車寄より宮内省差し廻しの馬車に吉田式部官同乘随員を從へ旅館帝國ホテルに入れり尚ほ同特使は三日參内法王の親書を捧呈の筈なるが我天皇陛下には特使御接見の爲三日葉山より還幸あらせらるゝ由（東京特電）

◎山縣公大隈首相を訪ふ

小田原より歸京して間も無く

山縣元帥は一日小田原古稀庵より歸京し目白の椿山莊に入りたるが後午後三時自動車を驅りて永田町の官邸に大隈首相を訪問し會談數刻午後五時過ぎ退出せり（東京特電）

◎貴州獨立宣言確實

貴州は一月十七日國民大會を開き龍建章を將軍に戴き載を巡按使と爲し獨立を宣言せりとの確報あり（北京特電）

▲重慶の會戰近し

上海來電に依れば貴州は愈々獨立したる爲め北軍の狼狽一方ならず北軍焦つて重慶を占領せんとして同地に於ける會戰近きにあり（東京特電）

◎南支の動亂と龍濟光

デーリーニュースは論じて曰く南支那局面の全體を支配す可き鍵は龍濟光が黨首とする二三輩の主張に在り東西論爭の焦點は今や共和對帝政の問題にあらず這般動亂の眞原因は個人的憎惡の結果として袁世凱の勢力が漸次失墜し來れるに存せり目下龍濟光は尚風馬牛の態度を取り北京に忠誠なるかの如き風を示し居れり（上海特電）

◎廣東軍命に從はず

廣東將軍龍濟光は雲南討伐の爲め出兵を命令したるも部下の兵約二萬の大多數は雲南出身なるを以て命令意の如く行はれず頗る窮し居れりと某所に着電ありたり（東京特電）

◎雲南隣接四省の形勢

デーリーニュース北京通信員の所報に曰く雲南よりの情報に據れば一月廿一日貴陽に於て貴州省の獨立を宣言せられたり雲南政府側は廣西も間も無く貴州に倣つて起つに至らんと期待せるが北京政府は廣西の中立を切望せり、然れども四川の形勢に關しては全然沈默を守りて綜る不吉の事情を想像せしむるものあり同方面よりは全く通信無し討伐軍は徐々として重慶に集中せんとしつゝありと解せらるゝ公式に報せらるゝ所に據れば龍濟光麾下の兵と思はるゝ官軍廣東を發して雲南省に向ひたりと（上海特電）

◎倫敦銅の暴騰

倫敦銅相場は連日暴騰を報じつゝあるが一日入電に據れば又復現物及び先物共前電に比し一磅の暴騰を告げ[illegible]の高値を示す（東京特電）

◎山縣公と政局

山縣元帥入京したれば二日大隈伯は[illegible]貴族院を緩和す[illegible]結局[illegible]貴族院の院議を[illegible]

◎製鐵所擴張費

製鐵所擴張費[illegible]豫算は二日衆議院の豫算委員會に上る（東京電報）

◎醜事件更に暴露

[illegible]杉山茂丸飯野吉三郎及び樺太廳[illegible]記者團に關する醜事件[illegible]せられたり（東京電報）

◎岡村博士逝去

法學博士岡村輝彦氏逝去せり（東京電報）

◎露太公御挨拶

露國ジョルヂ、ミハイロウヰッチ太公殿下を安東縣に御見送り申上げたる寺内總督は三十一日京城に歸著するや、取り敢へず長春に在せらるゝ太公殿下に宛て本日京城に歸還するに當り、殿下が随員と共に愉快なる御旅行を繼續せられ、且つ殿下の益々御健康ならむことを謹むで祈り奉るとの電報を發せり、之に對し露太公殿下は同日午後十一時五十五分長春驛發電を以てジョルヂの御名に依り寺内總督に左の御詞を寄せられたり無事當驛に到著せり、閣下の歡迎及び厚遇は予の終生忘るゝ能はざる所なり、茲に重ねて滿腔の謝意を表す

◎一部長會同（第二日）

各道第一部長會議第二日は二日午前十時より總督府第二會議室に開會、一部長一同は勿論、總督府よりは[illegible]總督統裁の下に豫定の日程に入り諮問事項の答申ありて午後三時散會したり

◎商議設置濟期

鮮内各地の商業會議所にては京城商業會議所の設立に鑑み或は從來の會議所を解散して新に商業會議所を設置し或は從來の商業會議所を繼續して新令に基く商業會議所に變更する等、新令に基く商業會議所の設立手續中なるは既報の通りにして仁川の如きは二十九日役員の選擧を了へ目下其選任に關し認可申請の手續中なるが大邱、平壤、鎭南浦、元山の四商業會議所も亦設立認可の申請中にて現に總督府商工課に於て審議中なれば本月中旬までには夫々認可の運を見る可く、其他の商業會議所は何れも目下設置の準備中なるを以て遲くとも二月中には全部其手續を了す可しと

◎將校現地演習

朝鮮派遣隊第一第二聯隊附古參の大尉及び佐官は二月一日より六日間慶南金海附近に於て現地戰術演習を擧行す統裁官は白水司令官、補佐官は神尾歩兵少佐、同甲大尉の諸官にして參加將校は緒方大佐以下十二人なり（釜山）

◎隊署長恒例會

二日午後一時より京畿道警務部に於て京城府内の隊署長會議恒例會を開會し諸般の協議をなしたり

◎露太公接伴員入京

露國太公殿下を長春まで御見送り申し上げたる木村式部官、田中海軍大佐は二日午後七時南大門驛著汽車にて入京す可く、又森總督附海軍武官も同列車にて歸任の筈なり

◎井上中佐送別宴

春川守備隊長井上少佐は今般中佐に昇進弘前步兵三十一聯隊に榮轉するに付き二十八日同地熊本縣人會二十九日同地官民の盛なる送別會を一樂樓にて催したりと

公州

▲忠南郡守會議

忠清南道郡守會議は去る一月二十五日より二十八日迄四日間小原道長官統裁の下に道廳錦南樓々上に於て參與官南部長事務官技師各係主任其他關係職員列席の上開催せられたるが第一日管内狀況報告及び諮問事項答申第二日意見陳述及び指示注意、第三日同上、第四日道長官訓示及び澁谷第一部長、谷第二部長、齋藤警務部長、秋田慈惠醫院長等の講演に次で主任書記の事務打合等ありて終了したり

●諮●問●事●項●

一、御大典の民心に及ぼしたる影響
二、郡是調査の狀況及び將來の計畫に關する意見
三、地方に行はるゝ惡弊中改善の必要とする事項及び其の矯正法
四、（イ）勸業獎勵の狀況及び將來の計畫に關する意見（ロ）貯蓄獎勵の狀況及び將來の計畫に關する意見
五、授産事業の狀況及び將來の計畫に關する意見
六、[illegible]面の現狀及び之が指導に關する意見
七、郡參事利用の狀況及び之に對する意見
八、始政五年記念朝鮮物産共進會開催の結果直接間接に助長せし事項あらば其細部内容
九、道令を以て私有林伐採取締規程を發布するの適否
一〇、米穀檢査實施の影響及び檢査實施に對する地主小作人並に米穀商人の感想
一一、
イ、漁村改正に關する施設
ロ、納稅獎勵向上に關する施設
ハ、前項の施設が面里に於て實行せられたる程度
ニ、納税組合組織に關する狀況
一三、地税法令納期實行に關する施設及び納期實行の影響
イ、納期實行に關する施設
ロ、年額二圓以下の納税者の第二期分納税準備に關する施設
一四、大正三年度に於て行はれたる新税及び增税實施の地方に於ける經過
一五、老農をして適確に農事改良の先導者たらしむる方法
一六、本道に於ては近年多數の共同購入及び共同販賣組合など組織されたりしに伴ふ副業增進の計畫
一七、改良種鷄及豚の普及及び之が飼育に關する意見
一八、牛皮陰乾方法を普及せしむる方法
一九、稚蠶共同飼育者をして必ず共同飼育所に出所せしむる方法

其他指示事項として庶務に關する三件、地方行政に關し十三件、土木に關し四件、勸業に關し二十九件、學務に關し七件、注意事項として人事に關し二件、庶務に關し五件、税務に關し七件、會計に關し四件、地方行政に關し三件、勸業に關し三件、學務に關し九件、會計に關し三件等なり

清州

▲雀捕殺獎勵金

忠北道にて大正四年度に於ける雀捕殺は既報の如く非常の好成績にて總數百零四萬餘の驚くべき數に達し一般農作物の被害も著しく減少したる由今回道廳にては成績最も良好なりし忠州、清州の二郡には各金十七圓其他各郡に十六圓以下總額百三十一圓の獎勵金を下附し尚各郡中特に捕殺に盡力したる者二百三十一名に對し賞狀を授與する由

▲忠北度量衡の普及

忠北に於ける大正三年同四年の兩年度度量衡普及の跡を見るに管内各郡指定販賣人の賣捌高大正三年度にて度量衡器を通じ總計二萬五千二百二十七個なるに比し同四年度は其數著しく減少し僅かに七千二百四十七個に過ぎざるを見て其の如何に普及したるかを察し得べしと

▲圍●碁●俱●樂●部●成●る●

新春匆々同好者間に俱樂部設立の議ありしが漸く今回設立の運に至り會員募集中の處約四十名の申込者ありたれば一月三十日の日曜を卜し本町三丁目同俱樂部にて發會式を兼ね盛んなる發會式を擧行したり

忠州より

▲石油の賣止

歐洲戰亂の餘波を受け砂糖、米利堅粉、燐寸等漸次暴騰し燐寸の如きは數日前より四割暴騰せし然るに數日前當地スタンダード石油特約店にては電命により在庫品の賣止を爲せしかば機敏なる商人は買占を爲し莫大の利益を占めたるものあり引續きライジングサン特約店にても鑵賣以上の賣出を中止せしかば遽に價格暴騰し小賣相場六割以上の突飛の値段を唱へ殊に販賣店にて鑵賣以上の販賣を爲さゞる爲め市民一般に迷惑と不便を感じ居れり

群山

▲商議役會員

群山商業會議所に於ては三十一日午後七時より役員會を開き新會議所成立と共に退職すべき現任議員在職中の功勞表彰に關する件及び群山停車場附屬地帶荷馬車交通道路改築請願の件等に關し協議決定する處ありたるが現任議員中には會議所設立以來勤續せる議員三名もあり以て夫れ表彰する事に確定し道路改築の件は停車場前道路の雜踏危險を避け荷物の積卸荷馬車の鐵道構内出入交通の利便を圖らんとなし滿場一致を以て當局に向つて改築請願の事に協議確定したり

▲魚●市●場●新●組●織●　群山東魚市場は佐賀縣出漁者共同販賣所の如く共同組合組織なりしが近く株式組織と爲し事業を擴張すべく目下準備中にありと

大邱

▲慶北農事講習會

慶尚北道にては昨年各郡より共進會を觀覽せしめたる處頗る效果を顯著ならしむる有志に對し是が效果を見ましむる可き目的を以て道より各主任技手を派遣し來る十日頃より各郡に於て農事講習會を開催する筈

▲學校組合會議

大邱學校組合にては二十九日府廳内に於て組合會議を開き大正四年度學校組合歳入出更正豫算に就き經常部更正豫算額二萬八十六圓、同既定豫算額一萬千六百七十一圓及び臨時部更正豫算額一萬七千九百三十七圓、同既定豫算額一萬八千三百五十四圓、歳出入更正豫算説明として高等女學校開[illegible]

▲玄●風●道●路●開●通●式●　達城郡玄風にては馬山より大邱に通ずる二等道路竣工に付き來る六日玄風邑内にて盛なる開通式を擧行する筈因みに達城郡守荒川郡書記道廳より道書記臨席の豫定

▲法●院●出●張●所●新●設●　大邱地方法院にては慶北管内數箇所に地方法院出張所を新設なしつゝあるが尚ほ本年中には各郡に新設せしむる筈

▲機●業●製●品●即●賣●　恩賜授産慶尚北道機業所にては從來の官紗、倭紗、明紬、三八紬外綿織物各種、其他木綿布地、白木綿、色木綿を製織し成績頗る良好なりしが二十九日より希望者に即賣を開始せしが賣行良好なりと

▲道●廳●講●習●會●　慶北道廳内にては道廳雇員の語學研究に資する目的にて語學研究會を設置しありしも一時都合に依り中止し居たりしが二月一日より再び開始したり

▲邱●銀●支●店●認●可●申●請●　既報の如く大邱銀行にては慶北安東に支店を設置すべく豫日の總會に決議し設立認可申請を其筋に提出せり

▲邱●安●郵●便●馬●車●開●始●　大邱安東間の郵便は從來人夫運送なりしも請負人國井定治氏は道路改築竣工と共に遞送の便利を圖り自ら進むで馬車遞送となすべく其筋に出願中なりしが道廳の認可の指令に接したり

▲東●村●在●郷●軍●人●會●　慶北達城郡東村にては全戸數六十戸中在郷軍人に屬するもの二十一名あり[illegible]多分大邱分會と[illegible]

平壤

▲久●世●大●佐●赴●任●　第七師團參謀長に榮轉せし久世大佐は三十一日午後一時卅九分の列車にて平壤驛發赴任の途に著く

▲篠田一部長出京　平安南道廳篠田第一部長は二月一日より京城に於て開催さるゝ一部長會議に出席の爲め田川道書記を隨へ出京したるが歸任は七日頃の豫定なりと

▲西原技師地方出張　平安南道西原水産技師は二月二日より水産試驗準備の爲め平原郡南面の各部に出張し九日頃歸壤の豫定

▲圍碁大會　平安南道廳職員及び平壤在住の碁客は三日（日曜）正午十二時より[illegible]に於て圍碁大會を開催したり

▲平南歌留多大會　[illegible]

人事消息

▲岡今朝雄氏（土木課長）三十日内地より歸任
▲野口次郎三氏（農務課技師）慶尚南北道へ出張中の處三十一日歸任
▲山口貞昌氏（法務課長）司法事務視察の爲め一日全羅南北道へ出張
▲島崎孝彦氏（土木局技師）[illegible]へ出張
▲[illegible]市太郎氏（水産課技師）水産物製造狀況調査の爲め此程[illegible]地方へ出張
▲館重臨氏（子爵）感冒の爲め引籠中

●聖上駿馬を臠はす
葉山行在所の御歡興

去る二十八日葉山行在所に行幸御避寒中たる聖上陛下には御機嫌愈麗はしく卅日は午前十時閑根侍從武官以下數名の供奉員を隨へさせられ南御用邸內なる木馬場に出御、神奈川縣警察部より天覽に供したる魁、花園、ホロメーレユ等三頭の馬を御覽あり滿園調馬師よりの說明を聞召され最ご御滿足の御樣子にて十一時入御相成り御晝餐後再び御用邸內を御逍遙遊ばされたり（東京特電）

●皇后陛下御機嫌麗し
紀元節後葉山へ行啓

皇后陛下には御慶事後の御肥立極めて御佳良にて本月二十日前後より御平常通の御身體に復させられ御外出にも何等御差支なきも侍醫より澄宮殿下の御旅行には尚爰數日間の御經過を願ひ居るを以て從つて陛下の葉山行啓期も未だ御治定に至らざるが多分天皇陛下來十一日の紀元節の還幸後再び葉山行幸の節御同行遊ばさるゝならんかと拜聞す（東京特電）

●御大典記念の新公園
釜山公會堂の新設＝龍頭山神社遷座

釜山商業會議所の寄附金二萬圓を以て大典記念の公園を建修するに就き若松府尹は府協議會に諮る所ありしに何れも同意せり其の設計の大體は現在龍頭山々腹に鎭座しある龍頭山神社を敬神會と交涉して山上に遷祀し其の跡を地均加工する時は優に千坪の平地を得るを以て一般公衆の行樂所として石碑のある藤棚附近を開鑿して新に公會堂を建築する事に決定せり（釜山）

●支那少年に日本語
四月から滿洲の支那小學校で課す

袁總統は命を滿洲各地の支那小學校に下し本年度より各小學校の科目中特に日本語を設け小學校卒業者は日本語の日用諸語にて不便を感せざる程度に教育すべき筈にて目下北京教育部に於て委員を選定し教科書の作製中なるが其の程度は本邦の尋常小學一年より三年修了迄にして特に文法發音の教授法に就て苦心し實施は來る四月よりこ內定し各小學校に於て一名宛本科に教師として日本人を聘すべしこ、尚ほ滿洲に於ける支那巡警に對しても本年度より日本語の練習を獎勵し巡警中日本語を解するもの、程度に據つて日本語通譯加俸を給する事に決定せりと（大連特電）

●埠頭に蠢く刺客團
卅萬圓の賞を懸けた黃興の首

支那革命の機運漸く熟すると共に曾て橫濱に姿を存したる事無き支那青年數名或は學生の姿を爲し或は商買に身を扮して米國又は香港より內外汽船の入港する都度橫濱埠頭及び棧橋邊を迂路付き或は出迎人に紛れて船に赴き頻りに船客を物色しつゝあるが彼等は支那政府より派遣されたる刺客にして黃興を刺し殺して卅萬圓の賞金を得んとせるものなりとて同地在住の革命黨員間にて大に警戒を加へ居れり（東京特電）

●馬賊露國婦人を傷く
衣囊の露貨三百留を奪つて逃ぐ

二十九日午後七時當附屬地滿洲日日支局附近の露國人アルチヨン方へ斧と棒を携へたる馬賊四名侵入しアルチヨンの妻エルサベートの後頭部を斧にて斬付け其の倒るゝを見て尚も左腕を棒にて敲きたる折しもアルチヨンは驚きながら妻を助け起さんとしたるに賊は更にアルチヨンの頭部を斧の背にて打倒し衣囊に容れある露貨三百留を奪ひ逃走したれば久保警部以下警官數名駈付け來り石原刑事は搜索の結果賊一名を逮捕して罪狀を自白せしめたり三十日朝更に三名の嫌疑者を引致取調中なるがアルチヨン夫妻は滿鐵醫院に入り加療中なり（長春特電）

●大邱 舊年末經濟

一鮮銀行大邱支店に於ける一月末帳尻に於て二萬三千圓餘を增加し預金にものが近來地價下落により投資するものなきと又資金の[illegible]

●鐵騎三十
金剛山を攀ぢん　騎兵中隊の壯擧

龍山駐劄騎兵第九聯隊第二中隊にては寒中長途行軍を爲すべく來る七日午前中隊長町口大尉小隊長森少尉以下獸醫並びに軍醫の將校四名下士卒二十六名合計三十名にて馬首を連ねて出發抱川、金化、淮陽を經て十日元山に著十一日同地滯在十二日海岸線に沿うて溫井里まで行軍繼續十三日同地著滯在十四日金剛山の險峯を踏破し松巨里に著それより騎乘演習を行ひつゝ十五日楊口十六日春川を經て十七日龍山歸著の豫定なり此の間元山春川を除くの外は全部露營にて此の踏破里程百四十二里、同隊始めての長途行軍なり

●新羅丸にて目出度いお産
仁川へ歸る細君＝船員の御祝儀

釜山聯絡船新羅丸にて歸鮮せる仁川本町三丁目岡本次郎吉方福田かよ（二十）は二日午前六時三十分頃對馬沖にて產氣づき玉の如き男兒を分娩したるが船員乘客の介抱にて母子共に健全なるが此の目出度き報船內に傳はるや船客より二十圓の祝儀忽ち集まりたれば之れを贈ると同時に釜山著直ちに草梁病院に入院加養中なるが產兒は新羅丸に因み新太郎と命名せり（釜山特電）

●支店長發狂し
猩紅熱に罹る

平壤財界の巨頭たる仁川鬼頭商店の平壤支店長中村兼松氏は此程來精神に異狀を來しあらぬ事のみ口走るにぞ店員等は其の擧動に注意中の所一月二十五六日頃より

△突如發熱し　齋藤醫師の診察を受けしが猩紅熱の疑ひあり直ちに同院に收容せしも何分發狂せる事とて寸刻も狂躁の態を止めず看護婦二名終始附添ひ居るも殆んど手の附け樣なきより鬼頭氏は仁川より來壤の上三十日平壤慈惠醫院傳染病室に其の療養を委托したるが入院以來益々昂奮して大同館某

△流行妓の名　を連呼するかと思へば附添看護婦に戲れ其の商敵を罵り廊下に飛出して病室のガラスを打破るより醫院にては周圍の患者に及ぼす惡影響を顧慮し其の療養に苦心しつゝあるが症狀少しく怠たれば多分總督府醫院精神病室に轉院せしむる事となるらん氣の毒なるは兼松氏

△妻女けい子　にて夫の精神錯亂も其の罹病も知らず市中某醫院にて先月末產の紐を解きたる由（平壤）

●骸炭を焚いて
三名窒息

大阪市櫻島町大阪鐵工場櫻島工場の職工なる村井國重（二八）西田七太郎（三一）北川敬松（三九）の三名は二十九日午前三時頃目下造船中の汽船左舷甲板下なる一室に入り石油罐に骸炭を焚き暖を取りつゝある際瓦斯の爲め三名とも其の儘窒息を遂げたり（大阪）

●犯罪の性質が惡くなる

釜山地方法院鄕津檢事正の談片に依れば昨年度の犯罪數が一昨年度に比して減少せるは兩三年打續ける農作物豐穰のため地方一般細民に多少の餘裕を生じ生活難薄らぎ貧窮に迫つて餘儀なく働く竊盜犯が著しく減少せし等に起因するものにて實際に於ては寒心すべき性質の犯罪は漸次增加の傾向あり本年一月に入つては不幸其數激增し既に百六七十の多きを算し而も內には恐怖すべき事件の尠なからざるは憂ふべき現象なり云々（釜山）

●釜山の山火事

卅一日午後三時頃釜山繰町上手なる山裏手馬山方面より濛々たる黑煙昇り同山裏一面火焰に蔽はれ居たるより消防は全力を注ぎ同五時頃に至り漸く鎭火せり原因は不明なるが多分草刈童の煙草の吸殼より火を發したるものらしく面積は數十町步なるも損害としては山草のことゝてさしたる事はなかりしよし（釜山）

●觀世會春季大會

京城觀世會主催にて來る六日午前九時より壽町有明樓に春季大會を開催左記の通り各會代表者の出席あり一般の來聽を希望する由

△高砂（[illegible]）△八島（[illegible]）△花筐（[illegible]）△[illegible]

●撞球選手會結果

壽俱樂部に開催の撞球選手大會は六勝者六名を出し決戰の結果左記の諸氏入賞したるがその外五勝者四名責任擢手九名に授賞し一般會員には銀製金象眼士賞入の記念メタルを贈り本社寄贈の銀メタルは一、二、三等入賞者の手に落ちたり

一等松（一三〇）二等寺村（一九〇）三等小井（一一〇）四等大津（一二九〇）五等末吉（四〇〇）六等市野（二一〇〇）五勝者井田（一九〇）全等銀（一〇〇）前島（一〇〇）近（二一〇）

革命將軍（一）
候補生時代の蔡鍔

我輩は蔡鍔とは士官學校時代の同期生よ、彼奴は其頃から一寸變つた奴さ、所なども有つた時郭和の一時校は煙を吹いゝ

□秘密書類の紛失
嫌疑は支那留學生

明治四十二年も殘り少くなつた十二月の初旬、東京憲兵隊から應援の爲めに急派せられた十數名の角袖憲兵は深夜に及んで金澤聯隊に到著すると直にそれ〲部署を定められ、曉の霜深い道を八方へ分れ去つた。兎に角金澤憲兵隊では數日以來夜の目も眠らぬ大活動を續けて居る。隊長室へは各方面から報告が引切りなしに來る。しかし深く擢んだ隊長の眉を開かするほどの報告は一つも來なかつた。六日の朝になつて或方面へ向つて居つた伍長は憔たゞしく隊へ馳け込んだ。伍長は霜と塵とに汚れた外套を脫ぐ間も遲しと隊長室のドアーを排して突入した。

『隊長殿！』後は餘りに慌てた爲め斯う云つた後で擧手の敬禮を爲た隊長は

二三日以來の徹夜に充血した眼を上げて默禮すると

伍長は直ちに其耳元に口を寄せた

『可し來』期する處あるが如く隊長の充血した眼は俄かに鋭く輝いた。其日直ちに金澤寺町の妙慶寺は憲兵隊から家宅搜索を受けた。妙慶寺は當時支那陸軍留學生の蔡鍔外二名が下宿して居つたのである。此の日恰も日曜日であつたので、瘦ぎすの唐繼堯、美男子の蔡鍔、大兵肥滿の劉光春、眼の鋭い史乘直等が庫裡の一室に寢ころんで頻りに天下國家を論じて居た矢先へ、寺の內儀がさもあわたゞしく駈け込んで來ると、背後から制服を著けた二人の憲兵と角袖憲兵が二人續いて這入つて來て命令書を示した上、家宅搜索をする旨を告げた。驚いて顏ばかり見合せてゐる留學生の中から蔡鍔が起き上つて、

『どんな御嫌疑か分りませんが必要であらば遠慮なしに何處でも搜がして見て下さい』と流暢な日本語で答へた上、自分を始め

唐繼堯其他の者の書齋から寢室其他殘る隅なく案內

して素直に憲兵の搜索するまゝに任せた。家宅搜索は約二時間ばかり續いて精密を極めたけれど、結局何んの得る處はなく、引揚げて歸つた。憲兵の一行が門を出て行くと後を見送つて居つた劉光春が

『オイ三十一聯隊の秘密書類の紛失は遂に嫌疑が吾々の上にまで懸つて來たのだな』と氣遣はしさうである。

『處が其の秘密書類の十何册かの內の一册が泥まみれに成つて今朝三十一の營庭に轉がつて居つたそうだ』と唐繼堯が不思議そうな服付で

『滿國留學生の所爲だとでも考へて居るのだらう!?』

『それにしても出來事は步兵聯隊であるのに、野砲兵聯隊の我々に嫌疑がかゝるのは不思議ぢゃないか。』と

劉光春がいふと蔡鍔は落付き拂つた態度で

『無論、此れは滿國留學生の所業であらう。而かも步兵隊付きには滿人が多いから、夫れは滿人の所作さ、一度盜んだ物を又持つて來て置く處など何う考へて見ても滿人式だ、日本人の眼からは支那人とさへ云へば同じ者だと考へて居るらしい、滿漢兩族間に橫つて居る深い〲溝渠のどんなものであるかはとても日本人には解されない處であらう。一番其の犯人を捕へて吾々の潔白な事を表明しようではないか。それが日本人なら面白いし。滿人ならば更に面白いではないか。』

『それは近頃面白い。』と皆々異口同音に贊成を表した。

●南大門外の小火

二日午前九時四十分南大門通五丁目九十五番地建具職明石安造方二階木工場に据付けたるストーブ附近に散亂せる鉋屑に燃え移り大事に至らずして危くも消し止めたり京畿道及南大門消防隊は出動したるも引上げたり

●猩紅熱

京城西四軒町百八十七番地大谷はる子（九つ）は三十日發熱二日午前診斷の結果猩紅熱と判明し櫻井小學校の二年生なるより二日同校消毒を施したり

●釜山圍碁大會

釜山日報社主催となり來る十一日の紀元節に南濱芳千閣に圍碁大會を開き清雅なる一日の樂趣を與ふる由にて既に申込者多數に上りたれば同社にては其れが準備に忙殺せられつゝあり

●錢箱搔拂ひ

京城新龍山居住勞働者村松增吉（二〇）は一月二十九日京城櫻井町高原具方の錢箱一個（一圓十八錢五厘入）を竊取して逃走中を本町署の巡査に取押へられたり

●車掌の胡魔化し

京城觀水洞の玄炳旭（三十）は曾て京城電氣會社の電車車掌なりし當時に賃錢十數圓を胡魔化して貯金し居りたること發見され二日鍾路署に引致さる

●革泥棒

京畿道高陽郡西康面岩面栅栗萬（三八）は永登浦の皮革會社に職工として雇はれ中長靴用の裏革外三點（約十三圓）を竊取して自宅に匿し置き其他二回泥棒を働きたるため本町署に引致されたり

▲つい一兩日前のこと京城のさる葬儀舍の店員が職務に熱心の結果稽滑を演じたといふ一條▲其れはさる相當の家庭に患者があつて遂に死去して終つたといふことを聞き込んで件の店員早速同家に葬儀の引受け方を賴みに罷出た迄は先無難であつたが▲何うもお宅ではさう〲お亡くなりなされた相で就いては葬儀の方は〻〻手前の方に御用を承りたいもので……▲さまくし立てると詰合の人々の顏色が俄に變つたと思ふ間もなく大喝一聲『此馬鹿吉奴病人は未だ生きてゐるぞッ』とあつたので流石にすご〲と引下つた相な

▲壽座　來る四日より新派[illegible]一行にて開演の[illegible]

▲佐久良座　新派劇自然劇一行にて[illegible]

▲壽館　[illegible]燕左衛門二日の[illegible]物左の如し

柳田角之進（香右エ門）秋山の渡英（むら男）[illegible]士與北海入道（夢日の局、忠僕直助（山本松子）ハムレット（燕左衛門）

●連絡船上陸客　二月一日[illegible]

天氣　晴れ一時曇

株式會社第一銀行京城支店

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百卅五萬圓

京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）

頭取　男爵　澁澤榮一

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

內外各種ブラシ製造原毛販賣

龍山漢江通八番地　岩宮商會　電話一二四番

機業染色家に急告

歐洲戰亂の爲めコールタール染料の輸入杜絶し爲めに市價暴騰に暴騰を重ね殆ど底止する處を知らざる現狀にあり此時に方り內地及朝鮮の山野に豐富なる天然染料の使用を喚起せしめんとして本所主幹は斯業專門の學校出身己來廿有餘年間實地經驗を爲したる應用法を廣く普及せんとす國家經濟の爲め研究希望の諸氏へ其方法を頒つ

希望者は來る二月十五日までに申込あれ照會は返信料を要す

京城黃金町二丁目七十番地（電話二八九一番）
鮮京染色所

美しい艶々とした黑髮に御染めになるなら
最も手輕く染められて
一番染着の確かな
白毛赤毛染
千代ぬれ羽に限ります

定價　大三十錢　小十七錢

東京市日本橋區通鹽町一
服部松榮堂

…地税二…一般經濟界の順調企業心の緊縮等に因り特記すべき變化なし而して朝鮮銀行貸出七十五萬二千百九十三圓八十八錢にて是を前々月に比較すれば貸出超過の傾向を帶び又一方には從來土地投資の爲め運轉資金の流通せし

◉卒業後の方針　釜山公立高等女學校本年度卒業生五十五名に對し…

◉大神宮節分祭　二月四日は節分に付仁川大神宮に於ては例年の通り…

…津江兵營地百九十二坪は今回府有公園と爲す事に府協議會にて決定す

一日午後入港壹岐丸二等客一等なし（二等二名）（三等三十七名）…

タングステン夢物語

發見料二千圓＝一杯喰さる

蝦で釣つた鯛には肉も骨も無い

又た之れは鑛山狂内地人で名前丈けはお預りとして假の名を金尾と云つて倣から此の人は矢張忠南へ鑛石採見に來て居て内地人も住まぬ田舍迄も走せ回つて居たが或る時一鮮人が重石を携へて來て買つて呉れと頼んだ金尾は早速承知し發見料二千圓で約束をなして愈々見に行く事になつて其の鮮人の案内で目的の山に出掛けた成る程石英の脈が立派にあつて一見

◇素人目には重石脈があるに違ひないと見當が付く　其處で鮮人は金尾から三個の鑿を受取つて崖下に降りて一々石英脈を割つて鑿に入れて上の方で待つて居る金尾に渡して踊つて來た扨て踊つて來て鑛石を見ると頗る上等物である先生大喜びで早速約束の三千圓を支拂つて愈々之れが出願手續に及ばんとして居た處へ之れも鑛山狂の友人が突然尋ねて來た金尾は最ふ充分大金滿家に成り濟した氣持で大略其の話をすると友人は合點の行かぬ面で其れは怪しいのだが重石らしいものは一箇もない其の山へは現に僕が昨日行つて見たと不審な事を言ひ出した金尾は益々得意になつてイヤ其は君が惡い實は之れを見給へと前日持ち歸つた重石を見せると友人は益々不審な顏をして何と云つても彼の山に斯う云ふものゝある筈がない兎に角最ふ一遍行つて見るが可いと

◇強て勸めるので金尾も不承々々ながら行く事になつて其の翌日二人で行つて見ると友人の言の通り其の山には重石らしいものもなかつたので扨ては三千圓してやられたかと金尾は且つ怒つて見たものゝ最ふ相手の鮮人は何處に行つたか少しも分らぬ能く調べて見ると他の鑛山の重石を密かに懷中し行きて巧みに三個の鑿に入れて誤魔化して居た事が後で分つたので金尾は地團駄踏んで口惜しがつたが如何する事も出來なかつたと云ふ

（圖）舊のお正月前＝近づいた＝餅つき

◉富豪を襲撃　農民大擧して　囚徒を解放す

北河縣管內福來庄富豪張某は満文の結果に因る餘地を拂下げたる爲農民の怨を買ひて其の居宅を襲撃せられ家族六人中二人殺害され四人重傷を負ひたるが農民は更に縣城に押寄せ監獄署を襲ひ囚人を悉く解放したりとの報其筋に達せり（安東縣特電）

◉姫路師團馬糧燒く

損害約一萬圓＝放火の嫌疑高し

一日夜姫路第十師團城北練兵場西北隅なる同師團騎砲、輜重三特科隊全部の馬糧倉庫より出火三棟全燒臨設バラック建倉庫も燒失五時間半にて鎭火せり損害二萬圓放火の嫌疑高し（大阪特電）

◉地久丸の乘員避難す

全羅丸にて無事城津上陸

去る三十一日咸北城津沖にて坐礁せる汽船地久丸の遭難者は一日夜來航の全羅丸に乘船し無事城津に到着したり（城津特電）

◉鶴林寺へ強盜

去二十五日午前三時頃全州郡鳳東面隆上里鶴林寺へ白布にて覆面せる五人組の强盜押し入り住職を始め家人を荒繩にて縛し携帶せる棍棒にて毆打脅迫の上現金二十九圓五十錢、銀指環二個、金巾製男物綿衣四枚、木綿男物綿入上衣二枚外十數點を强奪し悠々と立ち去りたるが犯人判明せず目下嚴探中（全州）

◉破落漢捕はる

岡山縣川邊郡吹屋町當時京城長谷川町居廳島千代太（三三）は一月十日より二十一日迄南大門通りの櫻屋旅館に止宿し其の宿料十七圓五十錢を踏倒し更に新町遊廓第一樓にて遊興費九圓餘を踏倒して逃げ本町の桝屋三中井の兩吳服店三越吳服店等より反物を萬引して之を他に入質して酒色に浮かれ居る所を本町署の崖刑事に取押へられ取調べの上檢事局へ送られたり

舊正月のお仕度　來る四日

は陰曆正月元旦に當るを以て內地人にても式を喜ぶ向きは御家庭に鮮式餠を三寶に飾り雜煮の用意をする向きも多少はあるべく又來餠の搗き増しをする家もあり鮮人は更に營養であるから門前の柱に祭の痕も麗々しく嚴かに『立春大吉』『春風吹一家』『福禄初一新』等のお目出度牌を掲げ又は紅白の紙を張出しつゝれんがみさんの衣裳も白く家族子供の衣裳まで洗濯裁縫に忙しき光景にて習慣を重んずる朝鮮人家庭は却つて此の際の正月が賑ふのである

◉龍山興國寺の星祭

來る四日午後八時より例年の通り節分會祈禱並びに說教を執行し星祭御符及び福豆を施與する由

台所　その日〳〵

△白魚三葉松茸汁（鍋の部）松茸一本のかたい石附の部分を切り五六片に切つて醬油で下煮をします。三葉は長いまゝ笛で水に取つてよく冷し根と葉を打ち違ひにして一寸五分位に取り松茸と共に茶椀に入れておきます。次に五人前ならば三合五勺程のだし汁を鍋に入れ火にかけ鹽を茶匙に一杯加へ適宜に醬油を入れ煮立つてから下ろし此汁を少し許り小鍋に取り分けて火にかけ煮立つたならば白魚を入れ直におろし白魚五六本を前の椀に入れて汁を注ぎかけてすゝめます

商況

債券現物特電

東京二日川米債段（前日との比較）

東洋拓殖	九六、五〇	……
朝鮮銀行	八四、〇〇	……
南滿鐵道	九三、〇〇	……

東京公債直取引電

甲號五分利	九四、九〇	……
乙號四分利	八四、五〇	……

深川在米特電

朝鮮米	一八、六四
肥後米	一九、三〇
內地米	二〇、二七

東京期米特電

一日前場	三月限	二三、六三
	四月限	二二、七八
	五月限	二二、五二
	六月限	二二、五九

大阪株式特電

大阪株式、東京株式、大阪商船、日本郵船、東洋汽船、大阪新米、東京新米、鐘紡、日清紡、東京瓦斯、宇治川水電、大阪電燈、南滿鐵道　前場　後場　引値

大阪三品特電

二日前場		
一月限	三三、四〇	三三、四〇
二月限	三三、四三	三三、四〇
三月限	三三、五四	三三、五〇
四月限	三三、六一	三三、六一
五月限	三三、七一	三三、六五
六月限	三三、七九	三三、七七

大阪期米特電

二日前場　當限寄付　一三、一八　中限寄付　一四、二〇　先限寄付　一四、二一　止め

雜報

◉金巾値上げ

昨一日三井一番當共に正味百三十錢上げ

實行し難き四圓方の値上　細布三十錢上げ

牛皮行惱み

品質改良の實を擧げよ　相場は却て引弛

京城皮

◉燐寸と眼先

眼先荷間を來し一低落を豫期さるれば後益々高しと入電あり

◉明太魚漸落

元山報によれば十六圓五十錢新浦入電十五圓六十錢二十圓內外を唱へつゝあり

◉生鯡は好況

七十五圓下値の見當にて七十圓處を唱へられつゝあり

◉牛鰯入荷多し

一尾一錢位

◉米餅の昨今

二十四五圓處

下關相場

京城正米

南大門の廻米

仁川現物市場

仁川期米

△一日前場　四錢安の入電　大阪七節一

△八錢と安移

市場零聞

△前場の商戰

△依然館ひ惱む

△日先小相場乎

△市況は大阪の昂騰

△不勢な續け

△當物は自然先限に集中

△對當物振合

△實收穫に就き

△百萬石見當と

知る豫想高五千三

仲買店へ通

△在庫品調査

△在米增加す

△鞘の縮少に就き

◉鞘の一圓切縮少

三月限の四圓五圓以上に相當

抑へ問違つた

鞘は標準米の改正

二四十錢切不割

△在米の內容

仁川米豆取引所

二日の四月限

賣買取組高

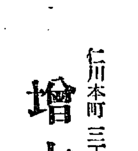
北濱だより

△明煉奔騰す

△石油株

乾物小賣相場

イゲダ小兒病內科醫院　油田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院）一二三四番（自宅）八八〇番

醇良清酒

仁川本町三丁目　增本酒店　電話一〇九番　振替京城六一九番

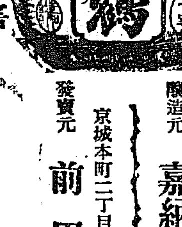
贊化病院
京城本町二丁目　電話二四二番
入院隨意　普通病室並隔離病室
院長　醫學博士　古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢查の依頼に應ず（毎日五名を限り無料施療す）

■開通御披露　電話五四二番
印章版木ゴム印並ニ菓子型彫刻　堂守山安次郎　京城本町一丁目五三

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

くすりは山岸
諸官衙御用達　洋藥賣藥卸問屋　醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前　山岸天佑堂　藥品部　器械部
電話一二二〇、七〇二、六四二　振替京城二〇三番

內科小兒科　入院隨意
京城明治町（元善隣學校隣）中島醫院
院長　中島貞信　電話三七八番

大日本優等清酒　ハクツル
品質純良　衞生無害

攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

燒麩製造　大野支店工場
大阪府各種麩類製藥原料　錦町郵便局前　電話二三七番

毎月二回發行　大阪今延米報　無代進呈
漫りに投機心を挑發し、相場大に遣るべしと爲す者に非らざれど、一度相場の中樞地、堂島市場に乘り出して、雄大なる期米戰を試みんと欲せば、定評ある本紙によりて、市場表裏の消息に明通せらるべし
取引御希望の方に營業案內致候の栞を進呈し更に新裝の週刊『今延通報』を以て市況御參考迄に御報可申上候
大阪堂島米穀取引所仲買　今延商店
電話北長四六八・四六九・四七〇　自宅南長四五六番

製作品販賣廣告
△官紗、倭紗、明紬、三八紬、外絹織物各種
△木綿布團地、白木綿色木綿、外木綿織類各種
右即賣開始す　大正五年一月二十九日
恩賜授產　慶尚北道機業所

◉大勉強仕候◉　淺草海苔
電話大森四一二番　東京府下大森町　藤森商店

朝鮮米雜穀移出商　依託販賣並に遭難一切
仁川濱町　西尾商會代理店　主任　北島五郎　電話五四五番
本店　大阪北濱二丁目　直輸出入商　西尾商會　電話本局二四〇八番

■安奉沿線五龍背驛を距る二丁
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
滿洲　五龍背溫泉
■風光絕佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

誠實に熱心勉強　特色は彫刻精巧
明和元年の創業
石碑
建築石　大阪天滿　神社佛閣石　平清　石燈籠　天神小橋
電東四九五五番

故子爵高永喜葬送の際は遠路御會葬被下難有奉存候乍略儀以紙上御禮申上候敬具
大正五年二月二日
男　義敬
親戚一同

越後大評定

第百十九席 早川貞水口演

荻田、山田兩人の諫言

いま荻田主馬、山田大膳の兩名が一方は大殿への諫言、一方は美作を壓へて、滔々と論じ立てたる正しき言葉に、大殿何と申されやうも是なく此上彼是言はれては御心苦しく思召され、其まゝ奥へ逃げ入つて御終ひになる。美作に於ても兩名に向つて一言の答へもなく、下うつ向いて控へたり。是に於て主馬、大膳の兩名は美作に向ひ『今日こそは御身に詰腹を切らせん所存なりしも、親美濃守の誠忠に免じ、宥し遣はすに依り、今後は必ずとも御家の大事に就いては、老臣を集め、評議一決したる後に、取計つて、然るべく乾度この儀は御含みありたし、苟も恥辱を知つたる良質の武士ならば、御奉公を大切に是迄の不都合を改められよ』と言はれて美作、何と答へもなり兼て、悄々退出し翌日より病氣の御届にて御前へ出でず、然るに荻田主馬は病にて、其後追々重く成りましたから、サア忠義の御家臣は、忠臣の荻田殿、一日も早く快くしたいと云ふので、見舞の人々ひきもきらず、所が此病氣を聞いて美作は、何とか工夫して、荻田、山田の兩名を亡ひたいものだ、此者ありては倅掃部が世の中に出ること思ひも寄らずと、惡人を集めて頻に事を謀つて居る内に、延寶五年六月十五日、高田の長勝寺に於て、豫て流罪中御死去遊ばしたる宰相忠直公の御年回、御法事と云ふので、孰れも御參詣を致しまするといふのは、前々申し上げた通り、慶長四年六月十五日豊後府内に於て御逝去に相成りました、其御命日と云ふので三日間の法事にて御領分五里四方の非人乞食等へ對し施行を御出しになつて大した御法事で御坐います、此日小栗美作は、病氣と稱して登城は仕りませぬが、御參詣は致さなければなりませぬから、今供揃を致して、長勝寺の松原まで掛りますと、大の男の子が、深編笠を冠り、其御供前へ出で『アイヤ御家の執權職、御願ひ是あるに依り、暫く御止り下され度く』大小を傍に置き大地にピッタリ兩手を支く、此ときは小栗の御家來が『只今は御參詣の途中、何事なるか、願ひの儀は月見が丘の御屋敷へ罷り出で然るべくであらう』○『イヤ乃公仔細あつて此處にてお願ひ致す者で御坐る』駕籠の内より美作『各位待て』駕籠を停め 美『予が小栗美作なるが、願ひと云ふは何事なるか』初めて深編笠を取り、九『乃公は渡邊九十郎と申する、三河守樣へ御附き申し上げたる者で御坐る』美『ホ、ホー其方が三河守殿の御近臣頭を勤めたる渡邊九十郎なるか』九『御意に御坐ります、乃公の弟九三郎、左門の兩名、江戸表に於て、正木團助、比留間與左衛門のため、命を落しまして御坐る、然るに右兩人、執權の御屋敷へ、近頃御隱匿ひ是ある由、慥に承知いたしたり、何卒寬仁大度の思召を以て、舍弟の仇討、御許し下されたい、兩人を御渡し下さる譯に參りますまいか、若し御渡し下さらぬとあらば、已むを得ませぬ、渡邊一家二十三軒、殘らず打揃うて、執權の御屋敷へ罷り出づべき覺悟に御坐いまする』之を美作熟と聽き『ハヽア九十郎、比留間、正木の兩名が、予が屋敷へ居ることを確め、茲に仇討と稱し、此方が不服とあらば渡邊一家二十三軒が、押掛け者の所へ斬り込まうと云ふ覺悟、こりや之を拒む時は大事を惹起すかも知れぬ』と、早くも覺りました

お聞きなさい

▲藝妓のストライキ 岡山縣では近く藝妓取締規則を改正し同時に愛知、和歌山、香川と同じやうに花柳界廓清の目的で藝妓の檢黴を始めやうと云ふ計畫が其筋で行はれつゝある、處が斯と聞いた岡山市の檢番の老妓初之助、お政を始め七八十名の大妓小妓が柳眉を逆立てゝ憤慨し、大に他檢番の同士を糾合し場合に依ては一同鑑札を返上しても此の規則に反對しやうといふ勢ひを示したので檢番役も連日閉會して善後策を講じて居るさうだ

▲『電氣燈』の寶約 東京力士中袖ヶ浦、相撲の名人で知られた電氣燈は、例の禿頭が有名で何人も騒らず呼び物になつて居る、同人の頭が殆んど石の如きさで鰹節で叩くと頭の方が平氣で鰹節が折れるといふ位であるが今度その堅い頭を帝國大學の方から『死んだら解剖させて貰ひ度い』と申込んで來たので電氣燈は早速承諾し既にお禮の半金を頂戴して飲み廻つて居るといふ事である

▲人の手紙を開けて見て 神戸福原の遊廓陽喜樓の樓主大正さわ(五二)が頻りに抱へ娼妓を虐待するので、それを憤慨して娼妓二名が一同を代表して所轄相生橋署長宛に嘆願書を認め出入の車夫を使として持たせてやつた處其車夫が適切り自由廢業と早合點して樓主のさわに其手紙を渡しさわは其手紙を開封した事が發覺しさわは信書開披罪に問はれ神戸區裁判所で二十圓の罰金に處せられた

二月四日 九星
舊正月朔日 辛未
本命五黄 八方殺 先勝

▲五黄● 取越苦勞の事有けど新事見合 南方は吉 朗なし ▲六白● 福徳の日 轉居入學金談名弘移築求職婚姻 造の原資を求る事萬吉 ▲七赤● 親に開く 婚萬吉 ▲八白● 力まけのする事有れど新事手を拡る事 土工は妨なし ▲九紫● 向上の日 轉居旅行入門 名弘碁詣金談移組織山業など[illegible]

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三番
二月一日より新大寫眞提供 [illegible] ○冒險大活劇 女記者(空中の美人) [illegible] ○西洋奇聞大活劇 君命 [illegible]

壽座 本町 電話五七八番
四日より新派劇角藤派木村清憲一行 一番目 悲劇 友 二番目 喜劇 女房の笑顏 安達源造(河内)娘お君(若柳)大村猛(山本)佐藤信市(春山)大村義臣(貫田)愛妾お花(女優日出子)令孃菜子(小川)佐藤夫人(春日)山田誠一(木村)

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七
[illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版 京城日報社寫眞製版部

佐久良座 新龍山
新派日本稀子一行 [illegible]

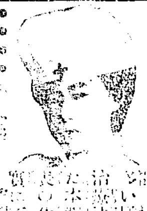
壽館 本町 電話一〇五〇
廣江萬愛燈家の福音 [illegible]

御成座 御成町 電話一二九一
二月二日替狂言(三日目) 前 近江源氏先陣館 [illegible] 一、中仙道の場 二、水奴酒と水の香 三、和田兵衛内の場 四、盛綱陣屋 五、盛綱首實檢 一、隅田川法界坊上下 一、庵室二道行の段所作事

わきが 寒時療法

夏よりも多く冬よく治る ● 不治の病と誤解し悲觀煩悶せしわきがも進歩せる新研究によれば夏より冬の方が能治る夫は病勢が減弱して臭氣發汗も少く藥効作用は夏より強く働くから短時日にて早く治るので之が法に苦心 [illegible] した本郷順天堂發表の療法は秘密に治療し難症にも大効あるは數多根治の感謝狀により信用せらる希望の方はハガキで東京本郷元町一ノ三本郷順天堂へ申込めば直に發送す

月やく



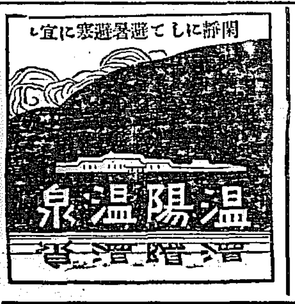
月やく止た時は婦人方の一大事は ありますまい一刻も早く治しなさい 世間に月やく藥は澤山あるが [illegible] 治療法に苦心した本郷順天堂の化學的療法は [illegible] の方は東京本郷元町一ノ三本郷順天堂へ申込めば [illegible]

男女衛生サック

▲品質優秀柔軟にして使用上頗る快感を覺え恐るべき花柳病の傳染を絶對に豫防し得る衛生上最必要品なり(但し懐姙を望む人は用ゆべからず) ▲男用十二個四十五錢廿四個八十錢 五十個一圓七十錢百個三圓二十錢 女用一個七十錢(別上製一圓) (郵券代用は一割增)著金即刻送品
東京北品川町百五十四番地 電話芝四七七八番 振替三一三三番 日新館製劑部

風藥の元帥 烏犀角散

いかなる大熱も即効顯る 風は萬病の基…一般衛生家の常備藥 感冒に 惡寒發熱頭痛咳及はしか痘瘡を快癒す
(價十錢 五包廿錢 十五包五十錢 郵送料二錢)
本舗…名古屋市廣小路通…小林盛大堂 大阪平野町小林大藥房 東京兜町藤井藥局 全國藥店若無ば [illegible]



◎ミツワ石鹼

擔任技師 工學士 藤野太治郎 工學士 越智圭一郎

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に「フェノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず尚ほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき處あるものを用ひず。

一、高雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

▲賣捌=全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舗 ミツワ石鹼 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 肝油ドロップス 御園化粧品 發賣元 登錄商號 丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號(〇ミヤ) 振替口座東京七一〇〇番 浪花三〇九八番 營業部電話浪花四四〇四番 四四〇五番

汽車時間表

[illegible]

(明治卅九年九月十八日 第三種郵便物認可)　(每日發刊 大祭日翌日休刊)

京城日報

三日朝刊 (第三千十九號)

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五拾錢　郵税一ヶ月金拾五錢 郵送に限り [illegible]
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲三號活字一行金壹圓貳拾錢 [illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　巻口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用三四五番　營業用二一八番　振替貯金口座京城一三〇〇番

第三版

總督の諭告と吾人の覺悟

二七 治病救貧事業

此他總督は京城に濟生院を設立して孤兒の教養及び盲啞者の教育を司らしめ、又地方と同歡救濟事業を起して罹災民救恤の途を開く等慈惠救濟に關する施設一再に止まらず、而して其の經費は臨院以下概ね臨時恩賜金を按配して之を基金となし、或は國費を補助し、或は地方費を支出して以て其經營に最善を盡し、又昨秋御大典の際に於ける二十萬圓の恩賜金に就きては慎重審議の結果、恩賜賑恤資金窮民救助規程を設けて窮民救助の資とし、永く聖旨を奉戴して其御懿德を記念し奉らむことを期せり

又た衛生狀態の良否如何は獨に生民の健康に至大の關係ある而已ならず延いて一國の隆替に影響する所尠からざるを以て、總督は治病救貧機關の擴張と共に又重きを衛生行政に置き、爾來各地に衛生機關の設置を變通して除穢清潔事務を掌理せしめ、又主要地に對して水道を敷き下水を穿ち、或は模範井戸を掘鑿せしむる等、銳意諸般の施設に改善を盡し來れる結果、今や衛生組合數は全土を通じて千二百數十箇所を算し、京城、仁川、平壤、鎭南浦、群山、釜山、木浦の各地に於ては何れも水道の敷設を見たる而已ならず模範井戸の掘鑿、改築數亦五百數十箇所に及べり、殊に由來猖獗を極めし痘瘡をはじめ、赤痢、腸窒扶斯、其他の傳染病に對しては手段を講じ方途を盡して極力其撲滅及び豫防に努めたるより、何れも近年顯著の成績を擧げたり、就中嘗に夥多の患者を見たる痘瘡の如き併合前年に於ては全土を通じ四千餘人の患者を出し、死亡者亦約一千名に達したるも、大正三年中には僅々百二十五名の患者に止り、死亡者亦十餘人に過ぎず、而かも其大部分は支那との國境附近に發生せるものにして其他の地方に於ては各道多きも十名を出でざるに至り又たペストの如きは明治四十三年滿洲地方に於て非常の流行を見たるも鮮內には一名の患者も發生を見ずして熄めり

斯の如く治病救民機關の發達は衛生設備の普及と相俟つて細民の疾苦を輕減せること既に幾何なるを知らずと雖も、病者貧民は由來其跡を絕つ可きものにあらず、殊に社會の進展は優勝劣敗の大勢を免る能はず文化の發達は漸く個人主義の風潮を馴致するの虞なきを保せず之れ總督の顧念措かざる所にして病者貧民は由來限り無し、專ら政府の恩惠にのみ依賴す可きに非ず疾病の豫防は多く各人の自衞に俟つ可く、窮民の救助は鄉黨自ら扶くるの情誼に由らざる可らず、自ら衞り人を助くるは鄉黨の美風なり宜しく之を助長す可しと論せり、洵に頂門の一針にして、各自意を攝生に致して、疾病の豫防に努め、天譽の完からむことを期す可きは勿論、亦た常に心を慈善、救貧に用ゐて鄉黨相輯り、隣保相扶け上下戮力一致して以て治病救貧の業に遺憾なきを期せざる可からず、之れ鄉閭の美風を助長する所以にして又總督の顧念に酬ゆる所以なり、

南北軍の對峙

雲南軍の活動せるは四川方面のみにして東方即ち湖南及び廣西方面に對しては專ら守勢を取り北軍も亦た之れに應ずる爲め四川方面に全力を傾け湖南及び廣西境に對しては何等見るべき活動を開始する能はず今各般の報を綜合して前記三方面に於ける南北軍對峙の近況を考ふるに

□四川方面□ 宜昌より長江を遡上る北軍第七師全部及び第三師一旅は萬縣を經て續々重慶に到著しつゝあり其數は一月二十五六日頃に三千四百人に達し二十三日には其一部約二百人を瀘州方面に向け先發せしめたり最初北京當局の作戰は救援軍の行程意の如くなる能はざる爲め敘州及び瀘州を放棄し重慶に全兵を集中し以て南軍を邀擊するにありしが最初重慶の兵を西向せしめし事實に徵するに北軍の形勢豫想よりも有利となりし爲進んで瀘州をも保守せんとするものならんか蔡鍔の統率せる南軍の主力は二十一日確實に敘州を占領し轉じて瀘州に向ひ既に同地を攻略せりとの説もあり蔡鍔は又若干部隊を割きて北方に敗退せる鎭守使伍祥禎の軍を追擊し嫌、爲及び有名なる鹽産地自流井を占領せしめたり、これ成都の將軍陳宦を制し其南下して重慶の救援軍に合するを防がんが爲なり

□湖南方面□ 北軍は江西第六師及び第三師の第六旅より成り一月二十三日常德に至り其れより沅江を溯り芷江、晃縣、鳳凰等貴州境の要地に配置しつゝあり之より先貴州の商務總會及び紳士等は其決議を以て南北兩軍に對し絕對に兵を省內に入るゝなからん事を要請し北京政府に對しては若し此要請を聞かざれば貴州省は直ちに武裝して北軍を抗拒すべき形勢を示せし爲北軍は今尚同省內に入る事能はず雲南政府は第二軍を組織して李烈鈞を將とし李は翼に討袁の宣言を發布して貴州方面を經略する豫定なりしが其後彼の消息杳として傳はらず思ふに雲南軍も貴州人士の要請を斥ぞくるを不利なりとし第二軍を四川方面に用うる事と決せしならん

□廣西方面□ 廣西將軍陸榮廷は北京政府の要求に依り步騎砲より成る十三營(約六千人)の一隊を編制し中將章榮昌を將として雲南境より派遣したるが陸の眞意は中立を守るにあるが故に輕々しく雲南省に侵入して戰を開く事を欲せず最近廣西軍が雲南省羅平縣に入れりとの報道あるも羅平縣は廣西貴州兩省を接壤せる山地にして界線犬牙錯綜したれば此報道は必ず兩軍の邊境守備兵の偶發的小衝突が針小棒大に傳へられし者なるべく陸榮廷が其好都合なる中立の位地を放擲すべしとは容易に信ずべからざるなり尚龍濟光が廣東軍を率ゐて廣西軍に應援すとの消息もあれどこれ亦深く信ずるに足らず廣東軍の出動に關しては北京政府と廣東當局者との間に幾度か押問答ありたるも廣東將軍龍濟光は省內革命黨の陰謀を彈壓する以上に餘力を有せずとの理由の下に出兵を拒みて中立的地位を讓ち得たる事最近の事實なり(二日記)

静寂　石田富造筆

大阪より

△在留外商窮狀 歐米商人の東洋貿易に從事するものは從來支那に於ては香港に、本邦にては横濱に本據を構へ其他上海神戶等に支店若しくはエゼントを有し盛んに業務を經營し本邦商人の海外事情に疎きに乘じ巨利を博し來りしが近時本邦商人の海外直取引を開始するもの頻出し爲に彼等の勢力範圍を蠶食するに至りしかば外商中には今後邦商に對して對抗するの成算なきを覺り潔よく本國へ引上ぐるか又は本據を支那に移して發展策を講ぜんとするものあり只困憊の久しき俄かに斷ずる能はず荏苒今日に及べるも戰亂勃發以來本國よりの物貨輸入困難となり米國方面に形品の雜貨を輸出して御茶を濁し居る有樣なるに一方我國より海外に輸出する物貨は雜品は勿論印度南洋方面に對する商品は專ら邦商の取扱ふ所に係り從て外商は何等の恩澤に浴せず僅か横濱及び神戶に在留する外商は昨今非常の苦境に陷りつゝあり此に於て是等の外商は愈々最後の決心をなし此機に乘じ本據を他に移さんとするに至り[illegible]マン商會の如きは既に支店を閉鎖し又オットマン商會も近く神戶の支店を横濱に合併して支那に新局面を開拓するの計畫あり其の他英佛獨人の本邦に本據を置けるものにして支那に發展の道を作せるもの尠からず

△明鍊株の好調 歐洲戰亂の影響に倫敦銅相場の益々昂騰して九十磅台を維持し電氣銅に至つては百二十磅といふ空前の高値を呈して本邦銅山業者の何れも莫大の利益を獲得せしに鑑みて明治製錬の如きは既に相應高値に買進まれしも銅價の昂騰に來期の配當增加見越しも加はりて小口買進みは月末の今朝前場に示し圓商の三十六圓四十五錢と大引せり

△大株の增資説 各都市株式取引所の增資に伴れ大阪株式取引所も亦增資説を風聞に上らしむるに至れり當局者は口を緘して語るを欲せざる如きも現時の資本金七百萬圓は二千萬圓にすべき筈にて東京取引所の現時資本金千二百萬圓を二千五百萬圓に增資すべしと云ふに對して少くも一千五百萬圓位にせざるべからずとの議大勢を動かし居れるものゝ如し(大阪支局)

裏の港へ　金谷填

洗浦驛より

二月一日午後四時元山發の二等列車に乘る、京元線は目下一日二回の發車便あれ共、午後のものは中間驛洗浦止りにて、南大門直通に非ず、若し京元線の夜行列車があつたならば……とは[illegible]北鮮人士の希望なれど、京城、元山間に二日を要する事は多少の不便無しとせず、[illegible]三防峽中に入らんとするや、傍の山腹に點々燈火の燃ゆるを見る、何を爲るかと問へば、これこそ[illegible]名物の[illegible]を作るなりといふ、斯る山中に商工業の營まれつゝあるも亦面白しと思ふ、次いで三防の關峽は闇の裡に過ぎ、午後七時十七分京元線第一の高原たる洗浦驛に下車する、何分にも半島の脊梁を成せる長白山脈の分水嶺上に位置する土地なれば、寒氣が[illegible]と思ひの外、宿への途上も夜風暖かく空には又滿天の星美し、宿の春日館といふに投ずれば宿帳に知人の名前多く又內地著名の實業家、學者、鑛山家、總督府官吏を始めゴルドン夫人の署名あるさへ面白く、殊に鶴山鱗村君が自ら大藏伯と名乘れるし[illegible]興あり、また此の驛は江原道金剛山に入るの最捷徑路にして、內金剛長安寺まで僅かに卅四里、これを平康驛と比較しても十里以上近距離なり、宿の主人の話では[illegible]附近に野猪や鹿が跳び出すとの事、雉子猟も亦頗る面白しといふ(二月一日夜)

南行列車中より

二月二日は朝の間に[illegible]洗浦[illegible]を見る、[illegible]午後零時二十分元山より來りたる南大門行列車に乘れば、車中元山[illegible]氏ありて頻りに京元線の[illegible]京城元山間の道中に[illegible]がありて[illegible]山と京城の兩勢力が相衝突する處、此地は又元[illegible]分界線を爲す[illegible]

京日詩壇

○歳暮東友　江原　如水
官游歳暮各思隆○自隨傾來擁萬愁莫○使綿繡詠桂玉○欲將酒借報詩儔○
評曰　叙來自家身分、眞率有餘、胸中無塵、風懷可嘉、

○歳暮東友　隈部　矢山
旅食長如此○大泥淺又移○歸期濃者酒○身世託乎詩○萬里滄波千○窓櫻月半規○中無適莫不用喫離○
評曰　音節高古、見惺惺相惜之態、
評曰　君本不啗酒、而作此妙句、

○歳晩　高橋　空觴
風指浪游將卅年○雪泥鴻爪總茫然○慶有此聲中物○窮鬼來時見醉仙○
評曰　利弁名走之徒、豈解此情味哉

日報俳壇　雉子郎選

枯柳
大閑ひてあくまで貧し枯柳　北星
酒食家なる盆提灯や枯柳　同
枯柳老うけし如き大の巨軀　同
沼の鳥土蹴て居りぬ枯柳　康知
枯柳藁刻む爺の嚔かな　同
枯柳綱馬色さめし野宮かな　大芸

冬木
舊居訪へば冬木の町となりけり　韭城
冬木道來し後の村灯りけり　北星

落葉
柾著く墓見る窓に落葉かな　竹水
(六曜の日曜會に招かれて)晴れし見る空淋しき丘落葉　東村
落葉ぬらす雨池打ち靜か哉　青扇
荷を負ひし牛臥すや門落葉　山民

枯蓮
枯蓮や呼びし豆腐屋耳遠し　容堂
枯蓮や飯食はて去る盲猫　同
蓮枯れたり主出處と決しけん　雉子郎

大阪株式　[illegible]　△後場の[illegible]百石買千石買[illegible]石買四千六百石[illegible]六百石買千八百石買[illegible]押目は硬軍の買に支へ居る爲めならん
[illegible]黃海道四圓九十五錢　神力六圓四十五錢[illegible]
出來高　一萬九千三百五十石

◎架橋工事の進捗　慶北慶州街道兄川洋橋架設工事は嚴寒氣の爲[illegible]

株式會社百三十銀行 第廿五期營業報告

貸借對照表

資産	金額	
諸貸出金	貳貳、九〇八、八六七	九貳〇
有價證券	四、八六七、參壹九	五〇〇
預ヶ金	壹壹八、四〇九	九貳〇
他店へ貸(一百六ヶ所)	壹四、四六〇	〇貳〇
拂込未濟資本金	壹、壹壹七、五〇〇	〇〇〇
地所建物什器	壹、貳壹七、五八八	壹六九
貸物流込	六參貳、壹貳壹	六八〇
諸證券買入元金	壹九貳、七七五	〇〇〇
雜勘定	貳九、九六九	六五〇
金銀勘定	貳、八壹八、壹六四	八四八
合計	參五、四貳參、五七六	七〇七

負債	金額	
諸預リ金	貳六、九五六、七八〇	參七四
支拂送金爲替手形	五八、四七六	貳七〇
未拂利息及既收割引料	壹六、六參四	五六五
借入金	壹八參、〇〇〇	〇〇〇
他店ヨリ借(一百六ヶ所)	貳六、貳九四	九八〇
資本金	五、〇〇〇、〇〇〇	〇〇〇
積立金	貳五〇、〇〇〇	〇〇〇
支拂未濟配當金	參、貳五六	五五五
當期純益金	壹九七、貳七八	九六參
合計	參五、四貳參、五七六	七〇七

利益金勘定
金拾九萬七千貳百七拾八圓九拾六錢參厘　當期純益金及前期繰越金
此配當
金壹萬五千圓　積立金
金七千圓　賞與及交際費
金拾參萬五千圓　配當金(年七分)
金[illegible]千參百四拾[illegible]錢參厘　後期繰越金

大正五年一月　株式會社百三十銀行
取締役頭取　安田善三郎
取締役副頭取　高橋長秋
取締役　小川爲次郎
取締役　小西又助
常務取締役　富田卯之助
取締役　森本清兵衛
取締役　石近和作
朝鮮業務代表取締役　森脇茂
監査役　中村良彌
監査役　內藤爲三郎
監査役　河村清七
監査役　渡邊至
監督　安田善次郎

龍山陸軍倉庫　購買　軍靴背嚢格納箱　雨覆　詳細二月三日以降ノ朝鮮官報ニアリ

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正五年二月一日　(定價二十五錢 郵稅三錢)

主要目次

口繪　京城に於ける消防隊及消防組出初式　永興畜産組合放牧場及乾草倉庫　京城南山景色
古碑拓本　慶州芬藏寺彌陀殿碑

◎寺內總督諭告
◎教員心得に就て　宇佐美內務部長官
◎鑛業令の要旨　石塚農商工部長官
◎郵便貯金の狀況　遠藤郵便貯金管理所長
◎肺ヂストマの豫防　宮入醫學博士
◎恩賜賑恤資金に就て◎篤行者事績◎籌勢館に顯はれたる各道道勢◎牛皮の輸移出◎眞綿の生産及輸移入◎家蠶繭の産額と其の移出◎苗木の掘取季節と假植地の濕度に就て◎個人經營の灌漑事業◎十二月中の鐵道運輸◎遞信事業概況◎教員心得の發布
◎實習教授　義州公立農業學校
◎公立普通學校に於ける國語普及施設
◎假出獄狀況◎恩赦減刑人員◎咸鏡南道に於ける肺ヂストマ◎埠の赤壁貳に就て◎鴨綠江下流地方に於ける河岸水防林◎調査◎外國事情◎地方通信◎雜報◎質疑應答◎叙任及辭令◎大正四年度面經費に關する調査◎朝鮮貿易概況◎鐵道統計◎旅客出入◎關釜連絡狀況◎法令及通牒◎判決例
◎投稿を歡迎す　原稿締切期限毎月十日
◎販賣店　東京神田巖松堂、朝鮮各地の書店に販賣す
◎廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

朝鮮總督府法定消毒劑
無害無毒
アイゼル
猩紅熱其他傳染病豫防新藥
宣傳部　井上藥品部　鐘路　電話八・一一五七

新日本

■貴族院の人物を論ず……杉中種吉　野村胡堂
■議會の品位……安部、板倉、稻田三教授　仲小路氏　花井博士
■支那觀……永井柳太郎
■歐洲戰の前途……八田博士
■日露協力の機……上田博士
■福田博士に答ふ……上杉博士
■最新文明　二月號
■蘇士の襲擊如何其他清新剴切の記事
■我輸入超過と貿易……津村博士
■大戰の新局面……長風
■國體の精華　大隈伯
■米國見たまゝ……澁澤男爵
■京都及京都人……泥牛客
■本所新舊記……山口孤劍
■遺傳と貞操……山內博士
■小說　眼……中谷德太郎
■誰が作るか第二の大坂……支局記者
▲幕あひ……楠山正雄
▲秋風の歌……若山牧水
■關生日記……青山菱村
■給ふ日の朝……岡本一平
■雪の家庭……中川八郎
■家庭改善……三宅博士夫人
■自殺した女の日記……松崎天民
富山房　振替東京一〇五

十五日間　珠算速成
珠算研究會編纂　價三拾五錢　送料四錢
小にしては個人の商業大にしては一國の貿易に至る迄其成功の掛引は一つに算盤の珠に在り此成功の秘訣たる加減乘除を最も神速に僅々十五日間に卒業せしむると同時に成功の奧儀を開切に教ふる者世上本書の外に無し研究會は其會員中より數多の成功者を出せしめたるに見ても本書の價値を知るべし
發行所　東京市小石川區白山前町一　振替口座東京四九七四番　忠武堂書店

第三十七回帝國議會

貴族院（二日）

▲第六分科會

貴族院第六分科會(各殖民地)は二日午前十時三十分開會、先づ臺灣總督府豫算全部を議題とし委員と政府委員との間に理蕃事業と産業との關係に就き二三の問答ありたる後直ちに全部を可決し次で鐵道院豫算を附議せしに目賀田男爵より將來の鐵道經營方針並に其の財源關係に就き數項の質問出で添田總裁の答辯ありたるも鐵道豫算は刻下の問題となり居れる減債基金還元論と關係あるを以て質問未了の儘決定を後廻しとする事となり次で關東州朝鮮樺太の順にて附議せるに何等の質問も無く各豫算全部を可決し正午散會せり（東京特電）

◎南軍嚴肅北軍亂脈

北軍到る所蠻行を擅にす

廣東日本領事館より雲南に派遣されたる藤村通譯官は三十日雲南に著其の後詳細の報告なきも雲南地方は蔡、唐將軍等の軍律嚴肅にして秋毫も侵す能はざるに反し北軍は極めて亂脈にて到る所蠻行は勿論供給不足を名とし命令を奉せざる者多く一月廿九日迄に宜昌より四川に入りたる軍隊は第三師團の五百名、第七師團の約一千二百名、第六師團の二箇旅團、飛行機四臺、野砲六十門、重砲十六門、十五珊加農砲三門に過ぎず尚宜昌の蠻行は特に甚しく民心は袁政府に離反し居り特に雲南の爲め敍州を占領せられ重慶と成都との連絡を遮斷せられたる今日北軍四川に著くも何事をもなし能はざるべしと（東京特電）

◎官軍敍州へ向ふ

湖北省宜昌より出發したる一千の官軍は敍州に向け重慶を通過したりとの報あり（東京特電）

◎孟將軍舊同志を糾合す

重慶來電に據れば革命軍首領孟將軍は雲南兵援助の爲め敍州に在りて頻りに舊同士の糾合に努めつゝありと報せらる（上海特電）

◎獨飛船英國中部を襲ふ

倫敦來電に據れば三十一日夜ツエッペリン飛行船が英國中部地方を襲擊したるが其結果即死者五十四名負傷者六十七名を生じたり（紐育電報）

◎首相山公會見

首相要領を語る

同志會總務安達、濱口、片岡の三氏は二日午前大隈首相を早稻田に訪ひ一日山縣公との會見顛末を聽取し此際同志會に交涉して政策の變更なからん事を希望すと述べたるに首相は山縣公との會見は倶に國政を憂ふるの餘に出でたるものなり國債償還額を多からしむるは政府も貴族院も同感なるも唯其の形式方法に就き意見を異にせるに過ぎず今上陛下御即位以來終始豫算不成立に終れるは洵に國家の不祥事なり況んや一片形式の爲め又此の事を繰り返へすに於てをやと語れりと（東京特電）

◎東拓移民(六)

江景出張所管內

(二) 移住民と地方(1)

▲移民の地方農事に及ぼせる影響

第一回移民收容以來地方農事に及ぼせる影響一にして足らずと雖も其最も顯著なるものを擧ぐれば優良種子の普及肥料の增施整地法の改良除草回數增加病蟲害の驅除及び稗拔の勵行收穫物調製の改良副業の增加等なりとす

(一)優良種子の普及　鮮人農業者の從來栽培せる在來種は一見草丈並に穗長く立毛の見事なるに反し改良種就中地方に專ら汎く行はるゝ早生神力は分蘖多けれども草丈稍々短く穗成も密生して丈短き爲め成績劣等なるが如く誤認せられ移住民割當地の立毛成績に對し常に附近鮮農の嘲笑を受け之が普及に頗る困難の狀ありしが移住民收容の回數を重ぬるに從ひ一面見劣りせる立毛の成績が實收量に於て或は市場の價格に於て在來種の比に非ざるを一般の認むる處となり現今にては在來種にあらざれば適當せざる特別の旱害地を除く外は何れも競ふて改良種を栽培せざるものなきに至れり。

(二)肥料の增施　地方に於ける鮮農從來の肥料は山野又は畦畔より採集せる青草又は温突灰等に限られ其施用量も亦極めて少く土地肥培の効充分ならず從て常に收量寡少なりしが移住民收容以來施肥の重要にして收量の多きを望まんとせば須らく適當の肥料を選擇し之が施用を等閑に付すべからざるを實際に示すに及び附近鮮農亦漸く從來の施用量の過少にして且つ施肥方法の不完全なるを悟り自給採集に係る青草又は塵芥を以て堆肥とし或は青刈大豆を栽培する等漸次合理的肥料の配合を模倣し中には大豆粕を購入して之を施用する者さへ見受らるゝに至れり

(三)除草回數增加　從來鮮農者は稻作にまれ將た畑作にまれ殆ど作物の形體を沒する迄雜草の繁茂するに任せ生育中僅に一回の『ホム』打をなす外除草に對する特別の手入をなさず爲めに擅に養料を窃取せられ空氣の流通を妨げられ收穫上の影響尠からざりしが移住民の熱心にして少くも三四回多きは四五回の除草をなすを認むるに及び漸く從來の非を悟り今や如何なる怠農者と雖も必ず二三回の除草をなすに至れり

◎寺內總督へ御諚

一日提きあたりより寺內總督に對し閑院太公殿下接伴の勞を思召され優渥なる御諚の電報を賜ひ尚ほ安達公使以下接伴員に對しても其旨其々傳達すべき樣御諚あらせられたりと洩れ承る

◎安達公使出發

滯京中の安達公使は外務省關係の事務に追はれて寧日なき有樣なるが二日は午前中文書を閲し午後總督官邸其他を廻りて答禮し三日午前八時三十分南大門發歸東の途に就く因に一日夕刊に引籠り休養せる旨記せるは右の如く多忙の故なりしと

◎倉庫業務新記錄

釜山倉庫保險料日日計算

釜山現在に於ける各倉庫會社銀行箇所等有らゆる倉庫をして一寸の空隙なく充滿使用するも多期米穀出盛季節に至れば到底全部の收藏は不可能に陷り已むなく野天積即ち露積するの狀況を見るを以て之が擔保貸出をなす銀行側より見れば

▲其危險尠からざる所から今回當地金融業者のみにて組織しある金曜會主唱者となり朝鮮興業會社をして學校組合所有地たる北濱の突堤二百六十四坪を買收させ急に倉庫を建設し今迄收藏剩餘の爲め露積せし米穀等を入荷し此の危險を防遏せんとして熾んに之れを同社に囑望すると同時に大なる後援を與へたれば興業會社に於ても即刻重役會を開き圖る所ありしに何れも四圍の情況は此際意ある要望を誠に至當なりとし滿場一致可決直に學校組合と談合し一坪七十五圓總額二萬餘圓にて讓受二月三四日頃倉庫建築工事を入札に附する事に事態は進捗せり而して

▲今日迄世界各國何れの所と雖も倉庫業としては倉敷及保險料は月々計算を用ゆるを慣とせり因つて僅か一日乃至二日間入庫するも優に半箇月分の料金を荷主より徵收し居たるが今後興業會社にては日割計算の方法を採取して荷主の便益を圖る事にする由なるが斯くする時は會社側の複雜手數諸經費等は甚大なるものにして果して理想的好果を得るや否やは實施の上ならねば不分明なるも荷主側に取れば其利徑と簡易と安全は非常のものにして無例の業務規程と云ふべきなり此の善良なる新記錄を實施して好果を收め斯界に活模範を遺さんと堀家支配人以下社員一同其の準備と企畫に忙殺せられつゝあり（釜山支局）

◎元山貿易趨勢

元山港大正四年の貿易額は輸移出三百四十二萬八千五百三十三圓輸移入三百三十七萬七千七百八十九圓合計六百八十萬六千三百二十二圓にして大正三年に比し輸移出に於て二百二十九萬七千七百八十八圓を增加したるも輸移入に於ては八十九萬三千五百九十七圓を減退したるにより差引百四十萬四千百十一圓の增加を告げたり殊に輸移入超過の趨勢を轉回して十一萬二千二百七十七圓の輸移出超過となりたることは實に開港以來未曾有の事例にして特に注目すべき現象なり輸移出品の主なるものは皮革製品にして本年に於ける新規輸出品の一にして總額二百四萬六千七百八十圓に達せり之れ

▲時局の影響に依ること勿論なるも又京元線開通の効果に俟つこと大なり其の他米に於て四萬五千餘圓鹽乾魚二萬五千餘圓金鑛一萬七千餘圓黑鉛二萬五千餘圓生牛六萬二百餘圓肥料二萬三千餘圓を減退したるも豆類にありては十三萬九千餘圓牛皮二十四萬三千餘圓鯨肉四萬九千餘圓の增加を告げたり之れ豆類にありては大豆が前年末時局の影響を受けて暴落し大正四年に入りてより市價擡頭せし爲めか漸次出廻を促進したると一つは京元線開通の爲め沿線奧地方産の出荷を誘致したるに依るもの牛皮は交戰國軍需品の注文續出し之れが製造原料として需要を激增したるに依るものにして鯨肉は

▲近海捕鯨の豊況なりしに因るものにして之れに反して輸移入品にありては元永工事用品たる軌條及び附屬品の十二萬三千餘圓の增進を見たるの外一般に減少し殊に米の廿三萬一千餘圓生金巾及びシーチングの七萬六千餘圓麻織物三萬八千餘圓綿織物の四萬九千餘圓煙草三萬一千餘圓鐵(商及び管)四萬九千餘圓等は前年に比し著しく減退したり斯の如く輸入品に於て減少したる所以のものは元山港水道工事の完成に依る鐵管類の輸入減、米價の崩落による地方産米の食用並に鐵路沿線の人口增加に基く外米の減退せるもの等特種品を除くの外一般の概ね前年谷地水害による農作の減收穀價の下落地方明太魚秋鰮の不良等之れに伴ふ購買力の減退に依るものなるべし（元山）

◎漆谷植桑督勵

今回記念桑樹植栽に就て漆谷郡守よりは郡內各面長宛嚴重なる通牒を發し職員を派遣して各面を巡回せしめ各洞里長及勸業指導委員を召集し詳細に之れが趣旨並に之に對する準備等を說明し同時に桑樹植栽台帳を爲さしめ同時に各洞植栽者の決定と共に臺帳記入整理を行はしめ漸く二十五日迄に大體準備を了し直に穴掘に著手せしめ更に通牒を發して之れが勵行を爲さしめしが尚ほ充分なる進捗を認め難きを以て憲兵分隊と協議の上管內六箇所の憲兵派遣所の援助を求め一月九日より一洞里に對し一日宛九面九十九洞に付き郡員の全部を派し各方面共連日憲兵の出動と相呼應して栽植者各戶に對し穴掘の指導監督と共に桑苗代金徵收を急ぎ既に第一回の勵行を終了せしが尚ほ農家戶數七割の栽植者調定に就ては當初幾分の困難を感じたるも說諭督勵に努め結果漸次進捗し九割以上の穴掘を終り桑苗代金は已に八百九十圓五十錢を徵收せり以上の成績は各面に於て優劣あるを免れざるも大體に亙り良好にして仁同面の如きは既に全部穴掘を了し桑苗代金の徵收も九割五分を超へ居れり尚ほ今後第二回の桑苗代金徵收に著手し一方廳員を派し第一回の穴掘を視察せしめ同時に桑苗代金徵收の時期を逸せざる樣此際を好期として第二回の勵行に當りては代金未納の徵集と共に全般の運を了する計畫なり（大邱）

◎北鮮より

▲海藻の採取期　昨年中咸鏡北道沿岸一帶に亙れる海藻の採取は前年秋季に於ける大時化にて海岸を洗ひ其發生を良好ならしめたる爲め隨つて採取も好成績を示し前年に比し約二倍の多きに達せしが之れが採取期は若布の五月及び昆布の八月以上に達せり而して夏季に至りて採取せる昨年中の總産額は金額に於て實に四萬圓以上に達せり而して産額の割合に金高少きは前年より著しく價額低廉となりしと前年の半額に過ぎざりし結果なるも今少しく高調を示さば多大の漁利を得べし採藻は之を乾製し主に元山方面に搬出販賣せりと

▲穀類輸入旺盛　間島防穀令の國境地方に及ぼす影響に就ては朝鮮內農作物の收穫期際なるを以て事實に於て目下著しき影響を認めざるも鮮地食料品の品薄を告ぐるに隨ひ地方貿易に影響するもの尠からざるべく豫想せられ居れり又た禁止品以外の穀物たる小豆、白豆、綠豆、蕎麥等は昨年十二月來間島輸出品の代償として續々輸入を見るに至れるが中にも小豆白豆及び蕎麥は通過輸移入品として本年に入りて其輸移入旺盛となり本月に入りてより既に一萬數千圓の額に達し尙ほ引續き輸入さるゝ模樣なり（元山支局）

人事消息

▲木村雄三郎氏(宮內省式部官)　二日夕入京

▲田中耕太郎氏(海軍大佐)　同上

▲長谷場源四郎氏(大阪商船會社濟南浦支店長)　二日夕入京不知火旅館へ

▲ミンフオード氏(英國讚美家)　二日入京朝鮮ホテルへ

▲マックサギン氏(同上)　同上

▲ゴーン氏(ノルウエイ商人)　同上

▲アープス氏(同上)　同上

忠南縱橫記(三)

鯨洋生

◎鳥致院は忠清南北兩道の交通の衝地にして、此所より清州、忠州、公州に自動車の便あり、然れども其の發車時間は、公清兩州へは一日兩度、忠州へは規定の日を以て發車し、列車連絡を取り居るが故に、午前の列車よりする人にして、若し其の自動車に乘り遲れんか、止を得ず午後迄待たざるべからず、されば急を要する人は人力車に賃せざるべからざる也、されば旅客は先づ電報を以て鳥致院自動車取扱所に申込置かざれば此の上もなき手違ひを生ずる事あるべし、自狀すれば予も其の一人なりし也、但し予の手違は公州本店に向け打電し置たる爲に鳥致院にて閑與な[illegible]はされたる譯也。

◎[illegible]、自動車より置き去りにされたる予は直に鮮人車夫に賃して鳥致院を發す、道路は氣候の爲に甚だ惡しく車上鮮馬に乘るに似たり車夫[illegible]は水色の大巾著を二個迄膝につけ周衣を風に靡しつゝ走る樣は、否歩む處は約束の四時間にて公州に到著するは到底思ひもよらずされど、災難と斷念て予は車上に悠々沿道の風光を眺めつゝ進む、而も四顧荒涼何の見るべきものなし、行く事里餘にして、漸く後方より來る自動車に移乘するを得たるも、既に殆ど謀なくして漸く運轉手に乘車を乞ひ、ここに先づ安心、夜風だに我慢せば、豫定より一時間位遲れて公州に入るには相違なきを以て、纔かに寒風の[illegible]にまかす、途中何の記すべき所なく強いて云はんと欲せば錦江に注ぐ[illegible]の小河の橋梁完全にして、道路の整然たる所なり、間斷無く[illegible]道路の完然を以て鳴る、但し予の行く頃[illegible]の爲に道路の所々惡かりしは、洵に止を得ざりし次第なりとす。

◎午後二時三十五分公州に、迎へられて常盤旅館に入る、間もなく[illegible]、公州の狀況を聞き、直に相携へて道廳に[illegible]を表す、道廳は昔時の監營[illegible]にして、[illegible]に往、[illegible]の雄前に徘徊たる[illegible]後に繞え、道廳は其の麓にありて、堂々たる大樓門上には忠清道布政司の大扁額あり、更に一大門を潜れば[illegible]に過ず、構內廣く中分なし大柱には例の如く水陸十萬甲兵とか大した文字を[illegible]列れ乘る當年を偲ばしむ構內には道廳の外忠南警務部、公州憲兵分隊あり、先づ刺を通ずれば、小原長官は折柄の郡守會議に出席し多忙を極め居るを以て、後刻面會の時刻を約し書記の人と二三の談話を交換して辭し、更に警務部を訪へば警務部長は出張中なりとて鈴木副官に面會、鈴岡氏は公州在官中の最古參にして、温厚篤實の人なり、室內には前年寺內總督巡視の際の記念寫眞額を始め、前警務部長[illegible]氏の[illegible]

南言北語

即位などの儀式は充分ならない大總統でも[illegible]名は何でも最う皇帝になつて居るとは實總統も隨分亂暴だ▲イヤ物も考へ樣一つで何うにもなる大統領でも殿と云へば皇帝になると思つて居る處は流石可笑らしい殊に是迄の總統是れ元首現在の皇帝尙元首既に皇帝あり年號あり登極の事論ずるの要なく皇帝あるを知らば可なりと▲隨分無茶な事を云ふものだ此等の先生方に對して眞面目な議論は駄目だまあ打ちやつて置くサ▲討伐軍と革軍との模樣は下手な將棋で兩方とも駒の道許り知つて運用の法を知らぬ▲而して其ら行くと掛聲許りだが逃げ回つて居るのか大した衝突は一つもない▲多分第一回の大衝突があるだらうと思はれて居た自流井の戰爭も實際やつたかやらぬか判らぬ▲死傷者などの不明な處から見ると何うも討伐軍が總退却の後へでも革軍がソーッと乘り込んだらしい▲其うかと思ふと又た討伐軍が奪回したとも云ふ何が何やら薩つ張り分らぬが其の筈鐵砲の音もせぬ戰爭らしい或は之れが所謂王陽明の兵法かも知れぬ▲支那では今度日本操典を廢して獨逸式にするとか云つて居るが成程尤も千萬だ貴州方面に進軍しつゝある討伐軍は湖南長州で教會堂を砲擊して居る敎會堂砲擊の名人は獨逸軍人だ佛國の名刹を片つ端から打ち毀した事もあれば支那兵と同樣到る處で亂暴の極を盡すのも獨逸軍人だ▲支那で日本操典をやつたつて日本の樣に出來るものか其處は矢張り獨逸式に改めた處は大出來之れなら大丈夫本物以上が出來る事は受合▲下手な將棋でも休み/\やつて居れば何時かは勝負がつく何せ何方かの王將が廁居詰になる處は見物だ

（二日後報）
大るも技術員を派し病源の調査をなし
れたるものゝうち獸疫
委員をして其任に當らしめ以て遺憾
直明治四十三年より大正四年に至る
一頭目五十錢とするも五十萬圓の生
頭に嚴密なる[illegible]をなし愈々二月上
生産に大なる影響を及ぼさず既に每
市日郡廳に納入するもの續々現はれ
二萬五千圓に達すべき豫定にて之が
出廻り最盛期は何れ三月上旬な

●資本金壹百萬圓●創業滿三年●契約高貳千萬圓

八千代生命保險株式會社の特色

當社は全國唯一の確實なる非營利的組織にして最も進步したる相互株式の兩長所を具備し保險料亦他に比して頗る低廉なり然して其收入保險料の全部は是を永久內地各府縣農工農行朝鮮各道農工農行に預入し地方產業資金となすにあり

八千代生命保險株式會社
京城旭町三丁目五番地電話一一三番 京城支社
京城明治町二丁目四六電話二六一番 京城代理店 唐川立造

婦人公論

社會と婦人　實際社會の問題を解釋し指導す　女はこんな場合何うしたらよいか?　▼乳呑兒を擁へて放蕩な夫に捨てられた女▲　下田次郎　內ケ崎教授　宮田修　平塚明　棚橋絢子

見よ　特色ある本誌の特色を發揮せる本號を
■大正新女大學(其二)…澤柳政太郎
■有婦姦と廢娼運動…德田秋江
■嫉妬の心理學的研究(二)…高島平三郎
■良い子供を產む爲に…永井潛
■男性に對する主張と要求…伊藤野枝
■女子職業調べ(看護婦)…一記者
■女子教育の方針…高田早苗

讀め　小說
■(長編小說)若妻　小栗風葉
■(短編小說)初芝居を見に　田山花袋
■(歷史小說)舞殿　笹川臨風
■(短編小說)戀ごゝろ　尾島菊子
■(長編小說)情・炎　長田幹彥

平凡な婦人雜誌に飽きた今後の婦人方は
■女の手紙　ある男の方へ…與謝野晶子
■夫婦和合家刻傳(鳩山家)…鈴木秋風
■若き女の一人旅…晩川若菜
■異人種結婚のホーム…新渡戶稻造
■妖怪變化夜話(第二回)…井上圓了
■女子と化粧と美容術(お化粧)…鈴木四十
■不如歸の浪子に似た女…北原十三男　松崎天民
今日の家庭　▼嫁にゆく娘に與ふる親の訓▲(三十四名家)

定價廿五錢 郵税二錢　東京本鄉西片町拾番地 中央公論社 振替東京三四四

謹告
▲牛內ロース 百匁に付金二十八錢
▲牛上ロース 同 金二十五錢
▲牛中ロース 同 金二十二錢
▲牛上肉 同 金十八錢
▲牛中肉 同 金十四錢
▲牛並肉 百匁に付金十錢
▲豚肉 同 金十八錢
▲鷄肉 同 金三十八錢
▲鷄肉 同 金四十二錢
▲ヘッド 同 金十六錢
今回原價騰貴に付同業者協議の上當分の內右之通り相定候也
二月二日
京龍精肉同業組合

醫化學諸器械
Ⓚ
仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番
藥種賣藥卸商

……絶ざる實況なり依て是が……ては最も嚴密なる警戒を加へ一頭の……從來發生の届出なき地方にて於牝牛……の配置により調査を進めたるに……

……しては……豫防撲滅に當らしめ一朝獸疫の流行……猖獗を極めたる場合は各地駐在獸疫……防注射を實行せしもの氣腫疽大正三年より四年に至る一千五百二頭、炭疽……

▲本日の現勢界　……面積も已に三百廿町歩に達し最低に見積るも百萬貫以上の生産あり平均……年十二月より一月三十日に至るまで……き大事に至る可ければ道廳にては昨……ため薬の品質を損じたる傾あれど叺……本年度生産狀況を聞くに昨年旱魃の……を購入し目下盛んに奨勵製織中なれど今年は生産總額約三十萬價格又……

周到なる御接待振り
寺內總督の勉勵＝安達公使の談

露國太公殿下御來航に就き昨年十二月廿六日宮內省中の二大室を接判事務室に充て事務を開始し以後晝夜の別なく元日の御儀に參列した外寸暇なく奔走執務し接判の首班たる寺內總督と頻繁に電信を往復し三日に御接判案を携へて東京を發し五日朝京城に入り總督と面談して委細の御意見を承り其結果を東京に電報し宮奏より上奏勅裁を經、其後總督に伴はれて安東に到り殿下を迎へ爾來今日に至る迄の事は既に皆諸君の知悉する處であるが前後通じて

■四十三日間に亘る長期の御接判は實に外國の貴賓に對して比類なき接判であつた大抵今迄の外國貴賓と言へば橫濱から上陸されて入京し日光其他の御觀覽を終つて橫濱に引返し御乘船と云ふ順序で大抵一週間位で終るのが例だ然るに今回の太公殿下は是一度日本領內に入らせられてより更に其日本領土を御去りになる迄一箇月に近い長い間である殿下の御任務、御視察等は

■最も圓滿に御遂行相成り天候亦之を援けて御首尾能く小生にも是れ天が日露の大接近を願望せらるゝならん乎など感ぜられた殿下と寺內總督以下接伴官一同は廿五日間常に飲食を共にし殊に殿下始め隨員の多數は大戰の爲め故國に於て家庭の樂しみを失つて居るのだから總督其他接伴員一同とも馴染み深く

■恰も一大家族の如き感を懷きあひ宮島から鹿島、嚴島に分れて乘艦する際の如き殿下を始め隨員一同『セー、ピアン、トリスト』を幾度となく繰返された次第で安東で御別れの際には氣候溫暖、天氣淸朗にして周圍の事情極めて陽氣であつたにも拘はらず日露兩國十數名の新友は互に別離を惜しまれ寂しみ

■一場悲痛のドラマに化した思ひがあつた殿下は立花警務總長に對し前後二回の朝鮮御通過に際し警護の大任を盡したるを謝せられ露帝の御名を以て神聖アンナ大勳章を授けられた寺內總督に對しては極めて熱誠にして慇懃なる御謝辭を鄭重に御述になり幾度も幾度も堅き握手を爲された後で小生に對せられても配慮、勞苦に對し萬謝し決して之を

■忘れざるべき旨仰せありたるに對し恐縮の旨申上げ殿下御長途の平安を祈り且歐洲大戰に聯合軍の勝利に歸し光榮あり且永續すべき平和快復せられ倫敦なる妃殿下並に內親王殿下達も聖府の御家庭に御歸還遊ばされ圓滿なる御團欒の御樂しみを受けられん事を祈り上ぐる旨申上げたるに殿下は

■昔二十年間の戰爭があつた例がある事なれば今回の大戰も何時果つべきやと御歎息相成り且つ此の如き好天氣なる日本の朝鮮を去りてシベリヤ沍寒の荒野に入るの日は如何に辛かるべきと仰せられ若し近き將來に於て外交任務の都合上君が露都に來る樣の事ありて再會するの機あらば如何に樂しかるべきと御話相成つたが其

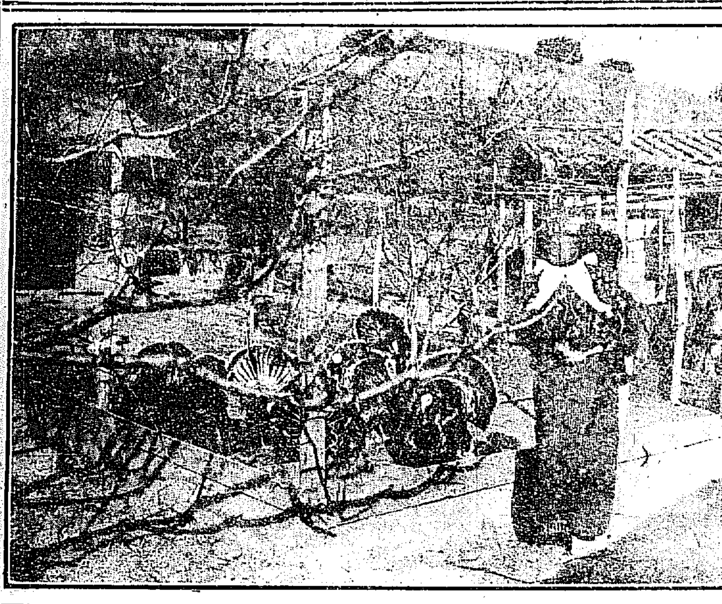
■寛宏仁慈の御心に感激恐縮した此太公殿下御接判と云ふ大任を無事に終了し得昨夜（一日夜）天皇陛下より優渥なる勅語を賜りたる如き是れ偏へに寺內總督の如き經驗、力量ある方を首班に頂いて爲したからの事で實に識見、位地殊に陛下の

■御信任厚き政治家が自ら百般の事務を督せられた事は同僚一同感謝の念に堪へない處である總督の盡力、勤勉な事は實に我々恐縮の外はない太公殿下は長途の旅行とて食慾なども普通とは多少の御變化もおありであつたらうが其邊の事も總督は一々

■獻立に注目を通し又寒い處から御出になつたのに如何に溫暖な國とは言へ兎角扉や窓を明け放ちなどするのに注意ある如き乃至は食堂などでも卓上に高々と盛花などして御話するのに御顏が見えない塲合に之を取り除けさせるが如き實に注意周到な事と思つた此の如き譯であるから太公殿下も寺內總督を

■師範の如く思召され食後の如き『もう煙草を喫んでもさし支ありませぬか』など御聞きになる如くで萬事其御指揮に隨はれた小生は此寺內總督の樣子を見て不圖奈翁一世を偲んだ巴里に現存してゐるテアトル、フランセーズ（國立演劇塲）に關する勅令の如きはモスコオ占領中の多忙な時に

■奈翁自身自ら考案したもので或は建築の如きさへも自ら設計、圖案したと云ふ事である而してモスコオを退却して如何に聯合軍に對すべきかを協議する時の如き實に三十六時間に餘る長時の會議に一刻さへも塲を外さなかつたと云ふ事だが其精力絶倫な處は大に酷似して居ると思つた



春近し――七面鳥が羽を擴げる

遭難英汽船乘組員還る
生存者は四百餘名の中百三十八名

獨逸國旗を揭揚して來りたる英國汽船アッパム號は一月十五日カナリー島沖に於て獨逸軍艦の爲め捕獲されたるも機を見て逃走し來りたるものにて其乘組員四百五十一名の內百三十八名は豫て擊沈されたる七隻の汽船の生存者なり（紐育電報）

秋津洲艦
二萬哩を突破して歸る

昨年五月三日佐世保を發し爾來新嘉坡を根據として活動し居たる軍艦秋津洲は新高が同地著と同時に諸般の任務を同艦に引繼ぎ十二月十三日新嘉坡發カムラン灣馬公に寄港し三十日午前航程約二萬浬滿九箇月目に佐世保に歸著したるが永らくの熱帶生活にも拘らず衛生狀態は良好にして兵員の元氣旺盛なり（佐世保特電）

自動車隊の先發隊
奉天に到著す

二日朝自動車隊先發として水谷大尉岡本屬は自動車九臺を携へ到著せり本隊は四日朝來る筈にて直ちに組立て及び試驗準備をなし七日より十八日迄長奉間の往復をなし十八日に試驗を終り內地へ歸國の筈なり（奉天特電）

兵士の健康は頗る良い

羅南衛戍病院の現在入院患者は四十名にして之を駐屯兵數千六百餘人に割當るときは約二分五厘弱に相當し內地各衛戍病院に比較し頗る良好なる成績なりと而して患者中呼吸器病の多きは氣候の關係上免るべからざるものなるも花柳病の少なきは頗る注目に値す今病名別に類別すれば傳染病八、外傷七、外被病七、呼吸器病六、營養器病五、消化器病二、花柳病二其他三計四十名なりと（羅南）

妻の仇に酒屋で巡り會ふ

慶北義城郡新平面光山里の醫生金奉事金禹相（四〇）は同道尙州郡洛東面新上里の康成云（三四）より負債あり昨年六月中成云の妻朴粉香（三三）は右督促の爲め禹相宅に至り催促の談判中禹相は

▲俄かに殺意を生じ粉香を欺きて毒藥を飲用せしめたるより粉香は約三十分の後遂に絶命したり斯くと見て禹相は直に姿を晦ましたるが一方成云は妻の行衛不明を怪しみ百方搜索しつゝも昨々禹相に殺害されしを覺りつゝある折柄同年三月二十八日午前十時頃義城郡義城面栗谷洞の酒幕權永貴宅にて兩人端なく出會したるが飽く迄圖太き禹相は尙も犯跡を晦まさん爲め成云をも殺さんものと手早く成云の盃に

▲毒藥を投入したり斯くと知れる成云は烈火の如く憤り格鬪の末禹相を縛し所轄憲兵所に引渡さんとせしが逃走せるより其筋に於て嚴探中の所此程安東郡豐山面豐山市場の酒幕に於て醴泉憲兵分隊の手に逮捕されたり

迷信の結果恐る可き犯罪

黃海道遂安郡大坪面大坪里卦坪洞張桂石（二〇）は癲癇に罹り居れるが此病氣は子供の陰莖及び睪丸を生食すれば快癒すべしとの迷信を信じたる結果同洞の李春根（二）を連れ出し一月十五日居洞の小川端にて春根の陰莖を切り取りたれば何かはたまらん大聲にて救ひ求めしより附近に居合せたる玄聖星に發見され治療三十日を要する創傷を負はせたるものなるが切取りたる部分は其塲にて食ひたりと加害者は間もなく新溪警察署に檢擧されたり

草苅庖丁で姑に斬付く

黃海道延白郡鳳西面延壽里金洪奎長男の妻李姓女（二二）は夫の母徐姓女（四五）との折合ひ悪しく昨年舊八月中徐姓女より叱責せられたりとて其後實家に歸り在りしが積怒の結果同女を殺害せんと本年一月十三日午前四時頃隣家の馬草切大庖丁を携へて徐姓女の寢室に侵入し數箇所に斬りつけしも抵抗されし爲め殺害するに至らずして逃走したる所を其後延安憲兵分隊の手に逮捕されたり

逃げるな、隱れるな、
進んで診察を求めよ＝隈部警務部長談

すべて傳染病は之を早期に發見する事が豫防上最も必要である即ち早く患者を發見し速かに適當の治療を加へると其の治癒も隨て成るべく早く其他の者にも傳染せずに濟む譯であるが若し之に反して或る患者が隱れて重症に陷るまで發見されないとすると其の患者は到底

▲快復の見込なき不幸を見るや計り知れぬばかりでなく其の病毒は他の家族にも感染し一家數名の患者を續發する事は既往に於て其例に乏しくない更に隱匿等にも病毒を傳播せしむる事がある而して患者早期發見に就て最有效なる方法は此の檢病的戶口調査であつて警察では此の檢病的戶口調査に最も重きを置き豫防の實績を擧げん事に努めて居る殊に昨年猩紅熱流行以來可成其

▲調査度數を增し且細密に行つて居るが鮮人中には往々其調査を受くる事を厭ひ家に居ながら不在だといつて健康診斷を受けず甚しきは室內に隱るゝものもあるとの事であるとは甚だ其意を得ざる所であつて成る程無論多少の迷惑を感ずる人もあらうけれども檢病的戶口調査は右の目的にて行はるゝものであつて警察はあながち患者隱蔽の疑を以て臨む譯ではない又決して隱蔽するやうな意思のなきものでも若し病人があるとすると素人には病名が分らず無論手當も行屆かないから戶口調査の際同行する

▲警察醫に見て貰へば病症も判然し早く相當の手當も出來得る事となる譯である又若し調査を受ける際全く病人がないならば一同診斷を受け警察官及び警察醫の面前で一家の健康なる事を表明するがよい何も隱れたり逃げたりするに當らぬ近頃聞けば一般に成績良好であるとの事であるが中には其の調査を受くるを厭つて容易に診斷を受けない爲め非常に困難を感ずる事があるとの事だから多少の迷惑は之を忍んで傳染病豫防に對する公德としてかゝる事なきよう望む次第である

暖かさが農作物に及ぼす影響如何

本年の寒中は降雪降霜が少く非常に溫いので農家は麥作其他の農作物の發育を氣遣つて居る此の寒かるべき筈の寒中の

▽溫暖が農作物に如何なる惡影響を與ふるかと云ふに現在の農作物と云へば第一が麥作、次が菜種類である豌豆蠶豆菠薐草小松菜等の野菜類であるがさしたる害はあるまいと思ふ

▽麥作に取つては必ずしも寒中には强烈な寒氣に觸れしめなければならぬものではなく、寧ろ極寒は避けたい位のものである雪は豐年の

▽瑞兆など云ふが成る程雪は雨と同じく幾分の肥料分も含み且つ多少害蟲を死滅させる等の關係もあるが豐年の兆など、喜ぶべき程でもない、唯麥や菜種類が寒中の氣候が餘りに溫かに過ぎると分蘗力が

▽減少し、唯上へ〳〵とばかり伸びて、其後の溫度が逆順であれば差支へはないが一朝氣候が激變し寒氣が酷しくなれば折角伸びた麥は寒氣に委縮して結局收穫不良となるの氣遣ひがある、其他の菜種豌豆蠶豆等の野菜類も更に氣遣ひはない許りでなく、來る二三月頃に

▽賣出さうとする早作りの胡瓜茄子類には此暖氣が非常な幸福であるが只患ふべきは梅雨期であつて霖雨が餘り續くと寒氣以上の大敵である、併し現在の所では農作物上更に悲觀するの要がない

此頃は此病が起り易い
＝痔疾の衛生

痔疾は冬期の病の一つである▲喧ましく吹聽こそせね、痔に惱まさるゝ男女の多いことは肛門病專門の病院が冬期に於て特に繁昌することによつて判る▲肛門病には約三十種あるが百人の患者中七十人から七十五人迄は正眞の痔の患者である▲痔は一種の遺傳病であるが又た職業によつて多く罹り易い痔の起り易い職業の人は海軍々人若くは船員店頭に朝から晩迄坐つて居る吳服店小間物店等の如き商人自轉車に乘る人等である▲是は冷るか若くは運動不足かが禍根をなすのである▲此病氣は肛門に血が滯るのが原因故豫防法としては體を溫め運動を充分にし且つ便秘と軟便を避け普通便にして置く必要がある▲現在痔に苦しんで居る人は第一酒精を含んで居る飲料を取らぬ事殊に害あるはブランデー、ウイスキー等であるが不思議にも酒精分の多い日本酒よりも麥酒が惡い▲次に山葵辛子の如き刺戟の强き物もよくない▲牛鳥肉を喰べるには餘り脂肪に富んだ處を避けなければならぬ▲甘藷や小松菜も纖維が有るから好ましくない▲煙草の脂も惡いから控へた方が宜い▲尙毎朝飯前に一度沸騰させた冷水一合乃至二合に食鹽を入れて飲み夕食後出來得るなら一時間程散步して寢に就く前入浴して血行を盛ならしむるやうに注意すれば非常に樂である▲醫師の治療を受くるが得策だが切つたり燒いたりする手術は舊式で根治する譯には行かぬ▲最新の名法としては注射で所謂化學的療法である

◉新郎新婦　京城本町二丁目貿易商[illegible]未次郎氏長女綾代子（二〇）は今回古城[illegible]氏の媒介に依り久留米第十八師團の陸軍步兵中尉若林次郎氏（二六）と婚約成り去る二月[illegible]日用度課[illegible]の典を擧ぐる由

芦邊踊と都踊
都踊は繰上て開演

大阪の春を飾る芦邊踊は四月一日より二十一日間南地演舞場に開演するに決したるが[illegible]と姬三社に因む骨子とし近畿其の他の名勝を背景としたる優美なる作組にて北野、山城男山八幡宮、明石人丸神社、攝津住吉神社、和歌浦玉津島、伊勢神宮、宇治橋、奈良春日神社の七場に決め作曲は[illegible]氏の作歌を依頼せり又京名物の都踊は大典記念式拜觀の入洛者を當て込み例年より早く三月十日前後初日を出し四月にかけて開演すべく作組は二條離宮大嘗宮、東福寺の新緣、[illegible]知恩院山門下の夏の夜、同寺大方丈上段の間、大極殿の雪景、櫻花爛漫たる嵐山春色といふ趣向なり（大阪支局）

醇良清酒　白菊　都菊
釀造發賣元　大阪府堺市　肥塚源次郎
特約販賣店　京城本町二丁目　佐藤牧太郎
同　本町三丁目　明治屋支店

京城電氣株式會社
第十五回決算報告

貸借對照表

資産之部

科目	金額
拂込未濟資本金	九〇〇、〇〇〇・〇〇〇
興業費	六、七貳貳、九七九・貳八七
貯藏品	參〇四、四四參・八五八
受取手形	五、八〇貳・〇〇〇
假拂金	貳貳、貳八壹・五〇貳
未收金	壹六參、八壹六・六四五
有價證券	參六六・〇〇〇
保證物件	貳〇五・〇〇〇
銀行預金	壹貳九、〇七〇・參參〇
現金	壹五、九九參・貳壹〇
合計	八、貳六四、九五七・八參貳

負債之部

科目	金額
資本金	六、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
準備積立金	八七、參九〇・〇〇〇
別途積立金	八七、參九〇・〇〇〇
未拂配當金	貳、壹九參・參九〇
借入金	壹、七〇五、〇〇〇・〇〇〇
契約保證金	九、參〇八・九〇〇
身元保證金	參參、九七六・八壹〇
假受金	壹貳、壹壹四・五參貳
未拂金	壹貳貳、五〇四・六參〇
前期繰越金	參、六七參・五〇〇
當期利益金	貳〇壹、四〇六・〇七〇
合計	八、貳六四、九五七・八參貳

損益計算

科目	金額
當期總收入金	五四六、九參九・壹五貳
當期總支出金	參四五、五參參・〇八貳
內 財產償却金	五五、參八參・五九參
差引當期利益金	貳〇壹、四〇六・〇七〇
前期繰越金	參、六七參・五〇〇
內 準備積立金	壹貳、六壹〇・〇〇〇
別途積立金	壹貳、六壹〇・〇〇〇
使用人退職手當基金	貳、五〇〇・〇〇〇
役員賞與金	五、〇〇〇・〇〇〇
株主配當金（年七朱二厘五ケ月分）	壹五參、〇〇〇・〇〇〇
後期繰越金	壹九、參五九・五七〇

右之通リニ候也
大正五年一月

取締役社長　大橋新太郎
專務取締役　岡正矣
取締役　白石直治
同　山口太兵衛
同　白寅基
同　伊藤幹一
同　下郷傳平

右調査候處相違無之候也
監査役　平澤道次
同　西村道彥
同　萩原源太郎

京城學校組合告示第一號

京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マデニ出生シタル者ハ來ル四月ヨリ就學ノ始期ニ達スルニ依リ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正五年一月十日
朝鮮總督府府尹　金谷充

◉生徒募集

本校本科及技藝科併設普通學校各學年補缺生徒ヲ募集ス
入學願書三月二十五日迄。入學試驗四月一日。規則書及詳細ハ本校ニ照會アレ
京城府壽松洞　財團法人　淑明女子高等普通學校

新刊書御案內

書名	著者	定價
日本書畫骨董大辭典	池田常太郎	特一二、〇〇
格言大辭典	芳賀服部安井	特二、〇〇
肥料的麥作改良法	鈴木千代吉	一、六五
小學校に於ける教育教授の實務	澤正	一、五〇
小資商店廣告法	淸水正己	〇、九〇
實用新聞雜誌廣告術	[illegible]	〇、五〇
新論語	村上俊藏	特一、二〇
通俗講話四季の衛生	[illegible]	〇、八〇
衛家經濟中流生活法	[illegible]	〇、八〇
我等何を爲す可きか	加藤一夫	一、六〇
隱元、木庵、即非	高橋竹迷	一、〇〇
詩僊乃木大將	兒玉花外	〇、八〇
日蓮上人	[illegible]	一、五〇
戀の秘訣	[illegible]	〇、五〇
女性中心說	レスター・ウォード	〇、七五
食之と戀と	安成二郎	〇、六〇
歐洲文壇印象記	[illegible]	一、〇〇
虞美人草	夏目金之助	一、二〇
鐵・花・奴	[illegible]	一、三〇
朱葉集	與謝野晶子	一、〇〇
歸	[illegible]	〇、八〇

京城本町　大阪屋號書店

京日案內

普通　一回前金三十錢（無割引）
番外　一回前金六十錢（無割引）

◉居員入用　商業に經驗あり身元引受人ある廿一歲以上の者一名至急入用　京城本町二丁目[illegible]商店 317
◉讓店　場所本町二丁目の電車通り希望者至急來談　京城本町三丁目（櫻井町曲り角）[illegible]店 316
◉古本品揃底に付無代價勉強　御一報次第即刻參上　京城本町[illegible]　電話二七八一番へ 315
◉林檎袋張　日鮮人內職者至急に募集す　京城明治町一丁目五三番地　[illegible]商店 310
◉古本買入　御報參上　京城本町一丁目（明治町筋）電話二六三六番へ　野村書店 319
◉朝鮮語科　新學期開始　三ヶ月修業 302
◉英語科　新學期　各級補缺　南大門通（漢城銀行向ひ）京城靑年會
開業資及金貸　秘密嚴守　返金の減額　有力者に對しては特に低利御相談に應ず　京城永樂町一丁目商品陳列館前橫入　秦質店 250
結核及古癩の注射療法（入院隨意）　京城南山町二丁目　松岡醫院　電話六七五番 261
和洋祝儀料理並御精進料理　壽司仕出し　京城本町一丁目府廳橫（元橋本）のんき　電話二四九五番 279
▲材料精撰○御申付次第迅速仕候
皮膚病花柳病　專門　須古醫院　京城永樂町一商品陳列館坂の上　電話二〇二番 243
京城日報　初號より四十三年末迄取揃へ相當代價にて讓受たし（住所姓名在社）

千生瓢 (114)

須藤南翠作　筒井年峰畫

忠烈（一）

先手の全く敗衂して、最後の一戦に本陣近く敵を類し、皆壯烈な戦死を遂げ終つた事の、狐塚の本陣に達したのは、日の既に高くさし昇つた頃であつた。

今が今まで、權六勝久、淺見但馬守の消息を脇息に凭れて待ち詫びてゐた柴田修理亮勝家は、段々落ち來る敗兵の注進に依つて、先手は悉く潰散し、諸將は悉く全滅した事を知つて、天を仰いで洪歎したが、固く口を結んだまゝ、又一言も發さなかつた。

續いて來る注進に依つて、三左衛門尉勝政の、悲壯な戦死の情況も詳らかになつたが、まだ玄蕃允盛政と權六勝久の消息は分らなかつた。

最後に戦塲を引き揚げた兵の言ふには、志津ケ嶽の連峯は、敵味方の死骸を以て谷を埋め、打物は諸所に林をなし、血は至る處に泉を湛へて居る。其凄慘の光景は、實に目もあてられぬばかりであると語つた。聞く兵等は、慄然として、面を見合はせた。

其處へまた注進が來た。今度は、玄蕃允、權六の上に就いて、悲むべき消息を齎らしたものとして、聞かぬ先から、心臓を寒からしめた。然るに、其注進は一部の悲報ではなくつて、全軍の安危に關する、一大重要の注進であつた。

此の注進は、疾くより細作をして敵中に入れ置いた、北國方の斥候であつた。その言ふ所を聞くに、實に下の如きものであつた。

羽柴筑前守秀吉は、佐久間の敗戦に依つて、本陣に備へた二萬の勢共が、忽ち浮足になつて、一人落ち、二人落ち、殘る勢にも踏み止まつて血戦する勇氣はなく、多くは逃支度に忙しい趣きを探り知つて、素破や越前を打ち破るべき秋が來たぞ。進むべき機は今ぞ。進め〳〵と下知したので、全軍驀然として進發した。

是れを見るや、蒿浦谷の堀久太郎、志津ケ嶽の桑山修理亮、羽田長門守、堂木山の蜂須賀彦右衛門、同じ尾崎の羽柴美濃守、木村小隼人、田上山の高山右近太夫を始めとして、砦砦の大將達、其外神子田、小川の面々も柵門さつと押し開いて鯨波を作り、貝を吹き、鐘を鳴らして、弓鐵砲の隊伍を整へ、堂々として繰り出す勢ひ、驟雨雲の一天に瀰漫るが如く、颶風の曠野を過ぐるが如くであつた。

之が爲に死を一戦に期し、踏み込み〳〵奮闘した越前勢も、大勢に壓し潰されて、此所の切處、彼處の迫りに、孰れも切り死して勇名を留めた。玄蕃允盛政、權六勝久も、遂に力敵せずして、戦塲を横斷し、何處へか落ち延びたが、生死の程は明かでないといふのであつた。

並み居る諸將も、思はず溜息を漏らした。勝家は肱を脇息より離して、徐ろに口を開いた。

『年來の好欵を御忘れなく、唯今まで附き添ひ下さるゝ方々の御志しの程、世にも嬉しく存じ申すよ』

勝家は斯う言つて、重い頭を低げた。

『某し勝家十三歳の時、初めて出陣致いて、五十七歳の今年まで、大小の戦に合ふこと、都合七十餘度でおざつたが、未だ曾て一度も不覺を取つた事はおざらなんだぞや。然るに今日猿冠者めに追ひ詰められて、箇樣に見苦しき敗北に及ぶこと、是れ併ながら戦ひの罪ではおざらぬ。察する所、天の勝家を亡し給ふ日の、今日唯今巡り來た事と存ずれば、聊か以て口惜しとは存じ申さぬ』斯う言つて勝家は莞爾と笑つた。

『されば、老軀更に惜しいとも存せぬ。唯だ潔よく筑前守に驅け向つて花々しく一戦致し、勇戦せられた面々の、忠義に報ひ申さうと存ずる。勝家が今生の思ひ出、戦の仕やうを篤と見物あれや、方々』

勝家は蹶然と立ち上つた。鎧の上帶緊く引き締め、大刀取り佩いて兜を頂いた。而てつか〳〵と出居に進んで、一聲高く

『馬牽け！』と呼はつた。

湖南會松竹里　蘆風吟社　第一回第二回　詠草

俳句題「双六」

双六に負けて勝ちたる化粧風　紫秀
賽の目に界はる人の運男　同
双六や小供に負けし元休み　後
双六やふり殘されて雨休み　能
双六に家庭の團くれ思ひけり　紫
双六や今宵は賽な拜みけり　秀
双六や笑ひに更て茶の湯けり　後

嫁か君

月に小供をふやす嫁か君　松
なかうさは大黒天か嫁か君　春
寢た跡て起きて働く嫁か君　能
嫁戻り馴染顔なり嫁か君　紫
嫁か君のそかに說く嫁か君　秀
嫁入の道具はよけて嫁か餅　後
夜になれは侮りかたき嫁か君　能

雜炎

雜煮餅祝ふ子孫の聰氣さよ　紫
新玉り居睡も祝ひて雜煮哉　秀
鳥城を拜みて雜煮祝ひけり　後
雜煮餅年の數ほど祝ひけり　松
老人も劣らす祝ふ雜煮かな　能
末廣に祝ひ廣けむ雜煮餅

社友を勵まさむとて

歩みこし坂はいくはくやすらはていさ進めかし見ゆる高嶺に　宮崎茂光

安東搭映吟社句集

小松曳

小松曳國境探る國家老　秋
一門の衣紋揃へて小松曳　同
公達の甲斐〳〵しさや小松曳　同
幼な手に力やさしき小松曳　石
兩陛連れて野山の小松曳　同
子も孫も繭の裕の小松曳　同
年明けて長閑き春や小松曳　三
小松原零々の群する子の日哉　三
小松曳老父の杖を子と共に　志
小松曳酒波わたる眞帆片帆　同
願ひ逆はかるたに子の日遊かな　泉
お附人力添へけり小松曳　同
罷送馬に召されて小松曳　同
小松曳侍女殿の塵拂ふ　黑
御手植の松げ子の日の記念哉　同
小松山根ならぬ袖な曳にけり　同
若殿原の侍女爭や小松曳　高
籠に召す御曹司若君小松曳　同
うたかたや御げき初小松曳　秋
疑りの揺れて危し小松曳　同
小松曳舊從の雅兒に仰せける　苔
家例とて新妻を迎れて小松曳　同
殿上人我おぼろげに小松曳　陪
おしなへて御代太平や小松曳　同
原化雅情夫待ち今日の子の日哉　同
大奥の女御も出たる子の日哉　同
子鼠の穴に契りし子の日哉　同
大黒の袋田隨ぐ子の日哉　同
小松原殿寵愛の禿も來て　響

餘興

禿頭（川柳）

禿頭撫で乍ら殿様な祝ふ哉　秋
見栄か藏いて打振る禿頭　同
簸何倉龍鐙ついて禿頭　同
龍の子が一身兩面禿頭　志
明らけき御代に照り添ふ禿頭　同
禿頭傾て居る顔の遊びけり　三
一門の湖か苦勞の精か禿頭　同
年の湖か苦勞の精か禿頭　同
禿頭一家の内に照り渡り　高
禿頭界に大なる自慢かな　同
年寄たに禿亦寸な進めけり　同
禿頭酒醐に光りけり　同
初日影頭禿に照りはえて　秋
禿頭御代の光な一身に　同
ハイカラのコスメチック禿隱し　掬
禿頭何時も苦心な植樹哉　同
禿仁光り爭ふ初日かな　石
禿頭領幹山の代名詞　同
頭から手にもかゝらぬ禿頭　替
光るほど猶寡しや禿頭　同
禿頭頭をなでゝ遍ふ　窗
書籍の霜原屋藏書藏や禿頭　同
禿頭びかりと照らす初日出　同
禿頭ひ々なかぜし頭はげけり　數
貸求や肖と姥との禿頭　同
長頭の禿けてめでたし頭の誇　泉
振りたてる薬罐頭の光り哉　同
茶屋におはられて薬罐頭並ちめ　黑
禿頭すは上界の首つかせ　同
三代も續く名家や禿頭　同

短文募集

短文を募集す、行數約三十行たること、或は高踏的文藝も可なり又或は趣味汪溢する考證も可なり、要は讀者をして共鳴せしめ得るに足れば可なり、毎日募集、毎日發表、京城日報編輯局『短文係』宛

社會と人物

▲定價金廿二錢　郵稅本社持

蘇峰學人著『社會と人物』は採擇する所の範圍極めて廣濶にして其目的亦多方面に渉れりと雖も其の主眼とする所は個人の社會に對する義務を遂行し各個相互の權利と義務との均衡を保たしめ而して社會に生ずる快樂と幸福とを各個に分配し享受するの道を論へ社會の人心を光明に導き恥を知り義に勇み公に奉じ己に克ち善良なる市民たり忠誠なる國民たる可き敎養を與へ趣味の涵養を說き風俗を敦厚ならしむるの方便を論じて理義明晰反覆丁寧を極む而して北白川宮殿下大久保卿を憶ふ以下人物に關する十五章の品藻は江湖の一讀を要請するに於て十分の價値ありと信ず　京城日報社代理部

撞球界の泰斗　王乃一熊著

撞球指南

菊版上製三百餘頁　總クロース美裝函入

定價壹圓五拾錢　郵稅金十二錢

玉突の理論と實際を解說せる
初學者の入門熟達者の虎の卷

「東京朝日」評　我が撞球界に於ける科學的知識と技術の卓拔並ぶものなき點に於て斯界の權威として推さる、著者の最も統一せる述作なり本邦撞球者の爲に他に類例なき好指導として推薦すべき者なり

取次所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

消化と毒けし　仁丹

主効　◎惡疫豫防　◎惡醉宿醉　◎食慾不進　◎消化不良　◎頭痛目眩

仁丹飲めば

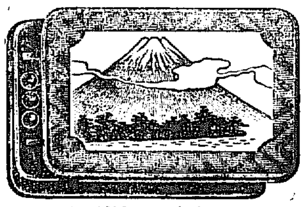
◎元氣頗る旺盛になる
◎胃腸が大變強くなる
◎常に口中淸爽なる事
◎何を爲るにも大愉快

「誰樣も仁丹を御活用なさい!!」

此容器の特長

◎日本四大名所を優雅に浮き出し快感一層
◎裏蓋を開けば裏ようし入鏡爪すりを兼備し朝夕頗る便利重寶
◎銀光燦然たる金屬製最新式精巧品にて眞に面白い智慧くらべ

（四季容器寶寫圖）



●此容器は仁丹五拾錢包に無代添付す

金言　艱難を知らざる人より不幸なるはなし（西諺）

最上醬油

特許機械製

ほまれ味噌

絕對的品質本位
鮮滿醸造界唯一の名譽
於始政五年朝鮮物産共進會金牌受領

醸造元仁川港
日本醬油株式會社　電話七五一番振替京城一七四番
京城出張所　電話二四五番振替京城五二三番

最上醬油

朝鮮仁川港
高杉醬油醸造場

美人　堺市大道錦之町　福助堂
密誥〇〇〇〇〇内容多云ふが花切手十五錢送れ直送す

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
淡路丸　二月十八日　正午出帆
竹島丸　二月四日　正午出帆
高砂丸　二月十二日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航路（臨航路を除く）同盟連絡切符發賣仕候
航の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
大智丸　二月十五日　午後五時
吉長丸　二月九日　出帆
須磨丸　二月十二日
×○木浦、釜山、長崎行（▲は臨時寄港）
安東丸　二月九日　午後二時
城津丸　二月十七日　出帆
×○大連行
安東丸　二月五日　正午出帆
城津丸　二月十三日
◎群山、關門、神戸、大阪行
大智丸　二月五日　後五時出
溫州丸　二月六日　後五時出
○群山、釜山、橫濱行
△チョイサン丸　二月十日　午後四時
×潼州丸　二月十九日　出帆
○大連直行
△チョイサン丸　二月十四日　正午出帆
×潼州丸　二月五日
○清津、浦潮行（元山出帆）
久北丸　二月十五日　午後二時
北丸　二月八日　出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
平安丸　二月十一日　午前十時
高新丸　二月十六日　出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘船相成度候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番　五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番
中國四國沿岸各港行船客に對し從分の同門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

汽船釜山出帆廣告

○元山、浦潮行
神丸　二月八日　後五時出帆
○門司、神戸、大阪行
神丸　二月十七日　後十時出帆
○元山、浦潮行
立神丸　二月十五日　後五時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸　二月　三日後十時出帆
○元山、城津、浦潮行
小倉丸　二月十九日後六時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　二月十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　二月　二日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十六日廿三日廿六日　午後十時出帆
釜山本町二丁目　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

朝鮮沿岸各港經由
共同丸　二月六日　後二時入
大連、芝罘、大連行　二月八日　前九時出
朝鮮鐵道主要驛に於て貨物取扱仕候大連にて青島行定期船に接續貨物客共直通輸送にて取扱可仕候
第一阪鶴丸　城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　月　日　後九時　月　日　出港
第三共同丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆）　月　日　前八時　月　日　出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目（電話一〇八番）　山下回漕部
仁川代理店　仁川代理店（電話二四七番）　田口回漕部
元山代理店　（電話二六八、二〇七）
附大門電話　京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆

鐵道及其外船と貨客連帶輸送の便あり、詳細は本店出張所、代理店、貨客取扱店に御照會を乞ふ
京城南大門驛前　京城貨客取次店　松原運送店（電話）
金剛丸　二月十二日
京畿丸　二月廿三日
黃海丸　二月十六日　釜山發
咸鏡丸　二月　六日
仁川より沿岸各港寄港雄基迄に
穩城丸　二月　三日
昌平丸　二月十一日　元山發
鏡城丸　二月　七日
元山より各港經由雄基行
永興丸　毎月廿八回　元山發
北久味、五里浦行　又は長崎延長
益德丸　二月五日　釜山發
木浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸
襄陽丸　毎日　釜山（浦項）發
長生浦、方魚津寄港
三浦丸　二月　八日　釜山發
長承浦、海水、巨文島、濟州島各港行
海州丸
統營丸
巨濟丸　毎日　釜山發
巨濟丸
各港經由麗水行（三日目一回木浦行）
順天丸　三日目每　木浦發
各港經由麗水より木浦行に接續
慶興丸　二月五日　木浦發
各港經由濟州島行（西廻）
公州丸　二月十一日　木浦發
南多島海列島行（月三回）
公州丸　二月七日　木浦發
各港經由濟州島行（東廻）
金州丸　二月五日　仁川發
海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行
江原丸　二月五日　仁川發
芝罘、大連、靑島行
麗水丸　二月十二日
晉州丸　二月七日　仁川發
各港經由木浦行
錦江丸
南陽丸　毎日午前　仁川發
江華島、栢島島、海州行
平安丸　二月三日　群山發
大阪門司、釜山行
二月七日　若松發
度島、木浦、門司、若松行

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　二月九日　後四時出帆
大有丸　二月十二日　後四時出帆
神代丸　二月五日　後四時出帆
蛟龍丸　二月十五日　後四時出帆
君が代丸　二月　日　後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

商況

大阪三品

六月限	一三七、六〇	一三七、九〇
七月限	一三八、六〇	一二九、〇〇

大阪期米特電（二日）

[illegible]

仁川米豆取引所

▲二日後場　大阪前止二十五錢後寄十九錢の入氣なるも一而〇安移りに當地中十一圓七錢より二錢方[illegible]と返して[illegible]先十一圓〇〇錢七錢[illegible]七錢と[illegible]七錢と[illegible]けたる

百俵千石買①千六百石賣九百石賣千石賣金千石賣千三百石買②二千石賣四千五百石賣千七百石賣七百石買⊕四百石賣千八百石賣

▲後塲下げ遊る　前場伸び惱みたるが後塲大阪の[illegible]を受けて十一圓〇六錢と[illegible]

▲依然小相塲乎　大阪の[illegible]に十一圓〇六錢より三錢と[illegible]へて十一圓臺を突破せん形勢なりしが中限の存外弱硬なると突込賣り來る手口なく寧ろ押目は買狙ひ多く七錢と洗れ四し大[illegible]

等にて午前安人氣なりしも正米の好況に連れ反つて強人氣と變し揚[illegible]物全部商談行はれたり
△正米　黃海道地物中括九圓八十錢惡濕不合格九圓六十錢忠淸道中括十圓十錢より四十錢靜力中括十圓五十五錢より七十錢迄にて三升八百叺

二日の[illegible]

[illegible]